Lifestyle Design Center Annual Report 2017

生活工房アニュアルレポート2017

April 2017 - March 2018

生活

生活工房20年の20組

目次 Contents

02　生活工房の事業
03　目次

特集

04　生活工房 20 年の 20 組 1997-2016
武正秀治／潮田登久子／下中菜穂／本橋成一／金子金次／浜井弘治／中根大輔／舘内端／
小山奈々子／中山晴奈／髙田唯／増田多未／軸原ヨウスケ＆武田美貴／小野雅子／池田晶紀／
飛田正浩／眞田岳彦／林のり子／佐々木光＆佐々木真由子／岸井大輔

45　生活工房の一年 2017.4-2018.3

展覧会 事業報告　Exhibition

48　眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ 赤をめぐる旅 展
49　DAYS JAPAN 写真展 2017 地球の上に生きる　世界の未来をつくるために
50　クレオール・ニッポンの旅　無名詩人の民謡から、ニッポンを聴く
51　家電のある生活展　暮らしのデザインミュージアム 2017
52　クライム・エブリ・マウンテン Vol.1　ミャオ族の刺繍と暮らし 展
53　「みっける 365 日」展　アーティストと探す「人生の 1%」
54　にしむらあつこ絵本原画展　ぐぎがさんとふへほさん

ワークショップ 事業報告　Workshop

56　映像のフィールドワーク・ラボ
57　夏の子どもワークショップ 2017　14 歳のワンピース
58　夏の子どもワークショップ 2017　夏の NEWS なアニメーション in NHK 技研
59　夏の子どもワークショップ 2017　日常探検 LABO ～カラフル！色のふしぎ編
60　中学生次世代車体験教室 2018

セミナー／地域と市民活動 事業報告　Seminar ／ Local Community

62　生活工房×イシス編集学校「情報編集力連続講座」3 日で編集力を身につける
朗読講座　豊かなことばの世界
63　穴アーカイブ：an-archive
64　おはなしいっぱい
世田谷アートフリマ
65　第 5 回世田谷区芸術アワード“飛翔”生活デザイン部門受賞展覧会
世田谷を“はかる”プロジェクト 2017-2018
「森・里・海の連環」による豊かな海づくりレリーフジオラマ
66　市民活動支援コーナー
NPO・市民活動のためのステップアップ講座
67　世田谷市民活動支援会議
国際交流 in せたがや 2018

68　生活工房施設ガイド
70　生活工房データベース
71　つぶやきからみる生活工房
72　協力先一覧

生活工房の事業 Our Program

展覧会 Exhibition

新たな発見が暮らしを彩る

生活工房ギャラリーやワークショップルームでは、デザインやクラフト、異文化など多角的なテーマで展示を実施しています。

We are pioneering program of creative world of various designs, arts & crafts and intercultural experience into everyday life which will offer new and different view and value to share.

ワークショップ Workshop

多彩なモノづくりを楽しむ

参加者が手や体を動かしながら「考え」「つくる」ワークショップでは、子どもから大人までが楽しめる多彩なプログラムを実施しています。

Our design and creativity workshops for all ages offer fun and inspiring time to experience.

セミナー Seminar

社会を知る、学びを楽しむ

専門家やクリエイターを招き、暮らしや文化に関する生きた言葉に触れる、さまざまな講演やトークイベントを実施しています。

Wide-ranging program of seminars and events for adults brings the academic field and creative world of design into our everyday life.

地域と市民活動 Local Community

地域とつながる

地域の活動と交流を支援し、多様な価値観や共感の輪を広げ、ネットワークを構築し豊かな地域づくりのお手伝いをしています。

Operating activity space and supporting programs for non-profit organizations, we encourage local citizens' networking with various people and exchange ideas for developing sustainable society.

三軒茶屋・キャロットタワーにて

生活工房20年の20組

1997-2016

1997年に開館した生活工房は、2017年4月に20周年を迎えました。

開館以来、日常の暮らしから時空を越えた人類の営みまで、さまざまな生活のあり方とそれを支える文化やデザインをテーマに、展覧会やワークショップなどを実施してきました。今年度のアニュアルレポートでは、これまでに事業で協力頂いた方々とともに、この20年を振り返ります。

関わって頂いた年ごとに一組ずつ世田谷区内でポートレートを撮影し、ご自身の生活と生活工房に関するアンケートに答えて頂きました。その回答からは、それぞれの暮らしの中で大切にされていることや、生活工房の事業の多様なすがたが見えてきます。ここで紹介するのは20年の歴史のほんの一部ですが、多彩な職種と個性との出会いによって生活工房は彩られ、かたちづくられてきたことをお伝えできれば幸いです。

これからの20年も、ともに。

写真＝ゆかい（池田晶紀：P.11,13,17,19,23,25,29,31,43／川瀬一絵：P.5,7,9,15,21,27,35,37,39,41／池ノ谷侑花：P.33）

潮田登久子さんご自宅にて、夫の島尾伸三さん、娘のしまおまほさんと

武正秀治

たけまさ・ひでじ　プロダクトデザイナー、多摩美術大学教授（生産デザイン学科）

06

Q 普段どのような事をしていますか？

A 現在の仕事の中心は大学でのデザイン教育です。デザインは学問ではなく職能ですので、前職のNEC（日本電気）での製品デザイン経験がデザイン教育のベースになっています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 施設建設中から運営や企画についての検討に参画させて頂き、オープニング企画「暮らしのミュージアム展」を担当致しました。また「食のデザイン」企画を多年にわたり担当致しました。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

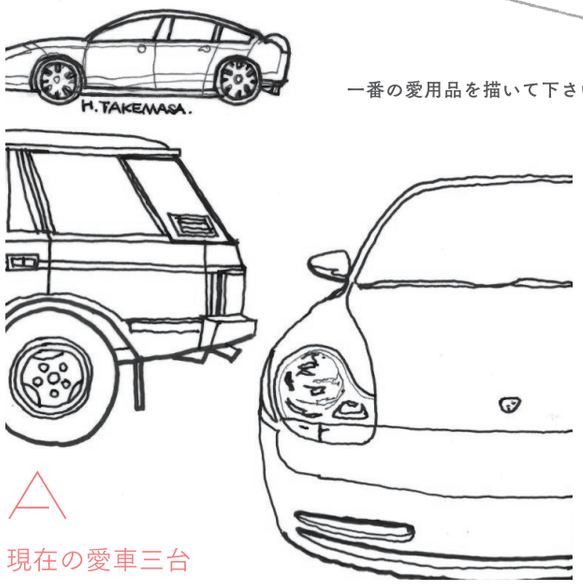
A 生活≒習慣・共有・伝達する様式

生活はひとが無意識のうちに習慣・共有・伝達するスタイル（様式）だと思います。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A ごはん、きちんと砂ヌキして一度冷凍したシジミのお味噌汁、氷でしめたレタスのサラダ、手羽先の胡椒炒め、薫製にしんのオイル漬け胡椒風味。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A 現在の愛車三台

レンジローバー・クラシック（1995年型）
シトロエンC6・ディーゼルターボ（2007年型）
ポルシェ911 カレラ（タイプ996／1998年型）

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 下田にある「なかがわ」という魚料理のお店へまずクルマを走らせます。海の定食と生シラスかナマコ酢、それに地のウナギの茶碗蒸しを注文。食後は近くにある金谷旅館の千人風呂へ直行。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 特にありません。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 環八通り

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A お正月休みに北欧へ出かけました。北欧の冬は日照時間が短いため、暗い毎日を快適に過ごす工夫が盛り沢山。なかでも図書館や本屋さんの居心地の良さは抜群です。そんな心地の良い時間を過ごせる施設を期待します。

武正さんに協力頂いた事業

暮らしのミュージアム展

戦後50年余りのライフスタイルの変遷を、家電製品を中心とした「衣食住と用具のデザイン」、情報機器など「生活を彩る小さな主役たち」という2つのテーマで展示。生活文化を振り返り、未来の暮らしを考えるきっかけとした。

そのほか協力頂いた事業

- 食のデザイン（2000〜2004年）
- 家電のある生活展―暮らしのデザインミュージアム2017（2017年、P.51）ほか

暮らしのミュージアム展

三軒茶屋・三角地帯にて

下中菜穂 1999

潮田登久子

うしおだ・とくこ　写真家

1998

普段どのような事をしていますか？

主婦をしながら写真を撮っています。

協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

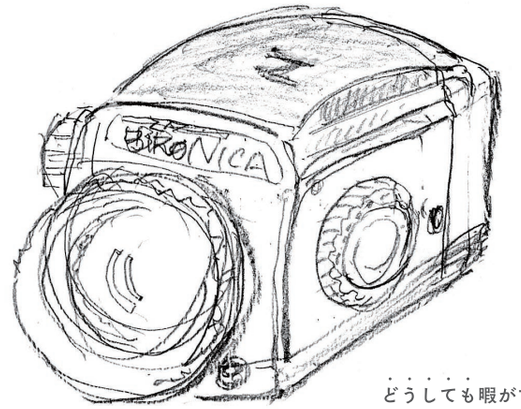
1999年3月の「冷蔵庫／ICE BOX」が写真展らしからぬ面白い展示になったのは、キャロットタワー4F・ワークショップBの空間のお陰と思っています。ありがとうございました。

「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

生活≒暮らし

日々の暮らしの中に、新しい何かを見つける喜びがあります。

一番の愛用品を描いて下さい。



カメラ・ゼンザブロニカS2

冷蔵庫の撮影に使用したカメラです。今でも現役です。

どうしても暇ができた時は何をしますか？

ボーっとしています。

昨日食べた夕食を教えて下さい。

カキのフライ、とろろ汁、水菜とパイナップルのサラダ

読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

巌谷國士『澁澤龍彦論コレクション1・2・3』（勉誠出版）

世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

豪徳寺界隈

これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

私の娘の子ども、つまり孫が仲間たちとキャロットタワーの辺りで楽しいことをしていたらいいなぁと思います。

潮田さんに協力頂いた事業

冷蔵庫／ICE BOX 潮田登久子写真展

ごく普通の家庭にある冷蔵庫の外側と内側を撮影した2枚組の端正なモノクロ写真シリーズを展示。個人の生活だけでなく、その時代の文化や家電製品の発達など、現代社会の姿が浮かび上がる展覧会となった。

そのほか協力頂いた事業

・潮田さん・島尾伸三さん：中国庶民生活百貨遊覧（2001年）

・しまおまほさん：三軒茶屋 三角地帯 考現学（2016年）ほか

冷蔵庫／ICE BOX　潮田登久子　写真展

三軒茶屋・三角地帯にて

1999

下中菜穂

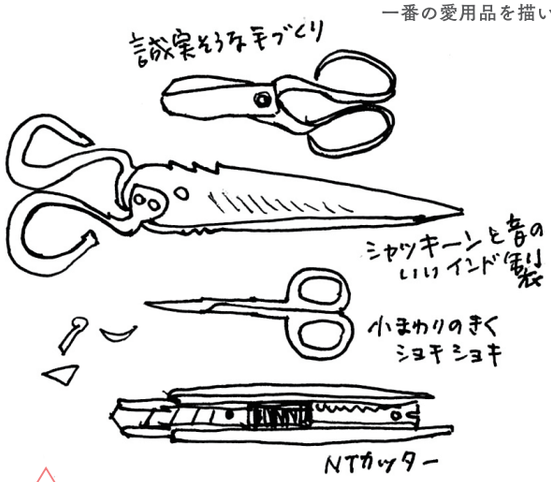
しもなか・なほ　造形作家、もんきり研究家

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒くらし

暮し→暗し→日は暮れまた登る。明と暗、生と死。苦と楽。繰り返すこと、それが生活？

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A はさみやカッター

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 鶏鍋、金沢のお土産のかぶら寿司

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 自転車（または徒歩）で街や野山を歩き回る。そのうちに必ず何かを見つけて観察する。拾う。並べる。写真を撮る。録音する。すると何故かたちまち時間がたってしまう。あるいは図書館にいく。すると暇ではなくなる。

Q 普段どのような事をしていますか？

A 紋切り、切り紙、文様をめぐる研究、本の出版、ワークショップ、展示。切り紙や手仕事のフィールドワーク。ECフィルムの活用（上映、ワークショップ、事務局運営など）。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 「賢治の部屋」ワークショップでは会期中毎日通ってずっと描いたり切ったり貼ったりし続けた。訪れた人もどんどん描いて壊して、つくって壊した。それでもやりたいことがどんどん湧き出ていっこうに無くならない。「ああ、泉は枯れない」と確信した。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 喜多川守貞『近世風俗志（守貞謾稿）1～5』（岩波文庫）

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店、施設など）があれば教えて下さい。

A 三軒茶屋の三角地帯（饅頭とミミの美味しい包包、豆専門店の豆商など）

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 混沌を恐れず、未知の森でともに手探りしながら企画に伴走してくれる。そんな場所とスタッフはそうはありません。その気風を持ち続けて！　さらには、ここで起こったことが外に広がっていく回路をつくれるといいなあ。

下中さんに協力頂いた事業

宮沢賢治の世界 ワークショップ「賢治の部屋」

イメージ豊かな童話作家であり、自然観察にも優れた眼を持つ宮沢賢治の世界観を体感する展覧会を開催。その会期中に行った参加型ワークショップで、たくさんの子どもたちがコラージュや作品で少しずつ空間をつくりあげた。

そのほか協力頂いた事業

- 窓花　中国の切り紙　黄土高原・暮らしのフィールドワーク（2013年）
- 映像のフィールドワーク・ラボ（2017年、P.56）ほか

「賢治の部屋」ワークショップ

生活工房・ワークショップA倉庫にて

本橋成一

もとはし・せいいち　写真家、映画監督

2000

Q 普段どのような事をしていますか？

A 写真を撮っています。いろいろなところに行って、居心地のよい「在り処（あか）」探しをしています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 富山妙子さんとのコラボレーションが印象に残っています。いつもとは違う世界を学ばせてもらいました。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒暮らし

衣食住を大切にすること。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A フィルム

友人からもらったフィルムのオブジェを撮影。もうすぐ4月、ぼくの誕生日。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 特製のポイポイサラダ（瓶に野菜をポイポイ入れて作るサラダ。ヨーグルトとピーナツをパラパラして食べます）

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 寝ながらいろいろ考えます。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A たくさんあって困っています。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 特にありませんが、世田谷在住の友だちがケーキを買ってきてくれます。（プラチノというお店だそうです）

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A また写真展をしてください。

本橋さんに協力頂いた事業

Pre2001 Peoject「きつねと炭鉱」

富山妙子（画家）、本橋成一（写真家）、高橋悠治（音楽家）ほかによるコラボレーション展示「メモリアル・炭鉱」「きつね物語」を中心に、20世紀最後の位置づけを絵と写真で表現する企画を行った。

そのほか協力頂いた事業

・写真展「三軒茶屋―まち・人・商い」（1997年）
・ブナ帯☆ワンダーランド（2014年）

きつねと炭鉱

生活工房と同じく、昨年で開館20周年を迎えた「世田谷パブリックシアター作業場」にて

金子金次

かねこ・きんじ　コミュニケーションメディア・アドバイザー

Q 普段どのような事をしていますか？

A ソニー歴史プロダクトに関して調査協力などボランティアをしています。経歴は前・東京オリンピック時、放送技術研究所でカラーカメラ開発、又ソニーでVTRの開発など。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 「分解ワークショップ」が実現できたこと。親子参加にしたことによる親子のコミュニケーションの育成や子どもたちがメーカーの技術者に直接疑問をぶつけ知識を得るという事で3者のコミュニケーションができたことが成果でした。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A ソニー製ポケット・ワールドバンド・レシーバー（ICF SW100）

20年前につくられたポケットに入る通信機型ラジオ。インターネット全盛の現在ですが世界では、まだラジオ放送が活躍。電池さえあれば何処ででも短波放送がきける宝物です。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 井深大『源祖・井深勘解由とその時代』（非売品）

ソニーの創業者・井深大さんがご先祖を知るために平安時代に遡り纏められたもの。『源流の源・岡田親義』とともに監修された本で、井深さんから、「興味あれば読んでみなさい」と言われ授かりました。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 世田谷で生まれ東京空襲を懸念して疎開するまで、淡島通りの突き当り、若林小学校から松陰神社のあたりが遊び場でした。今は心の故郷です。三軒茶屋ではパティオのところが好きで、パン屋のTea ラウンジが私の憩いの場になってくれます。

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 20年前はコンピュータって何だ？　これからはコンピュータに勝つ！　コンピュータに征服されない知恵づくりが生活の課題。オリンピックを控え、日本の文化、生活をワークショップの形で体験してもらうスペシャルな交流の場になると良いと思います。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒探検

ひとは生きてゆくために世の中を探検していると思います。日々の生活は発見の連続で生き甲斐を得ている訳ですから。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 特製鍋。白菜・ネギ・鶏肉にがんもどきを加え、できあがった鍋を特製辛子味噌（自家ブレンド）で食べる。寒い時期に身体が温まり美味しかったです。

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 暇だなぁ～という時がありません。○○したいけど暇がない……というのが実情。長年蓄積した資料整理をしなければいけないのですが。

金子さんに協力頂いた事業

分解ワークショップ（2001～2016年）

電子レンジなどの身近な家電製品を分解して、製品の仕組みや工夫を探る体験ワークショップ。メーカーの協力のもと、社員が「分解博士」となって子どもたちの学びをサポートし、ものづくりの理解を深めた。

そのほか協力頂いた事業

・「世田谷図鑑」をつくろう！（2001～2002年）ほか

分解ワークショップ

中根大輔

2003

若林・ギャラリー世田谷233にて

浜井弘治

はまい・こうじ　服飾デザイナー

2002

普段どのような事をしていますか？

"残糸"をコンセプトに工場の残った糸を回収した残糸シャツ、"和紙"を糸にして新たな素材に展開する等、日本の知恵を形にする服飾デザインを展開中です。

協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

「WASHINOITO」展で、和紙が、糸になり生地になり最終製品のジーンズ、ポロシャツ、ウールジャケットになる等の生産過程をインスタレーションにし、エピソードを内田春菊さんに漫画にしていただきました。

「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

生活≒実験の場

都市部の情報を切り捨て、地方しかない情報でファッションを展開する等、日々実験です。

昨日食べた夕食を教えて下さい。

炊き込み御飯、カマスの開き、ほうれん草サラダ、人参とシメジのチャンプル、ジャガイモのみそ汁

どうしても暇ができた時は何をしますか？

地元にいれば関門海峡、山陰をドライブし温泉に入って帰ります。出張中であれば、美術館巡りをします。

一番の愛用品を描いて下さい。

J・M・ウエストン　ウイングチップ

世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

キャロットタワーの最上階。

読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

フィリップ・K・ディック『ゴールデン・マン』（早川書房）

これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

民族の知恵から生まれるデザイン、そしてそれらはなぜ生まれたか？等の情報発信と世田谷区民とのコミュニケーションの場発信を期待します。

浜井さんに協力頂いた事業

「衣と医」（1999～2003年）

一般の生活者、浜井ファクトリー、生活工房の協働でアイデアを出し合い、医療の場における衣服を製品開発するプロジェクト。未来の「医服」の一つとして、着る人の工夫次第で「機能」する服「スリット・ウェア」を提案した。

そのほか協力頂いた事業

・WASHINOITO 未来を着る、浜井弘治の和紙のプロダクト展（2015年）

「衣と医」プロジェクト

明大前・「日本EVクラブ」事務所屋上にて

中根大輔

なかね・だいすけ　ギャラリー世田谷233オーナー

Q 普段どのような事をしていますか？

A 若林で「世田谷233」というギャラリーを運営しながら、いろんな人たちの表現や創作活動をサポートしています。渋谷の専門学校で企画デザイン科の講師もしています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 作家さんから、「自分の作家としての活動は、世田谷アートフリマへの出店から始まった」と言って頂けたこと。またそういう作家さんにたくさん出会えたこと。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

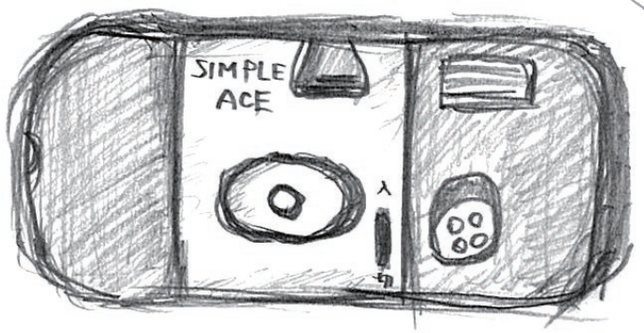
A 生活≒仕事

自分の好きなことを仕事にしているので、日々仕事をすることが生きることです。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 寄せ鍋

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A レンズ付きフィルム（写ルンです）

Q ・・・・どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 映画を見ます。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A デイヴィッド・トゥープ『フラッター・エコー 音の中に生きる』（DU BOOKS）

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A キャロットタワーのTSUTAYA

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 今まで以上に多様性に富み、より多くの区民に開かれた場やプログラムを提供して頂ければと思います。

中根さんに協力頂いた事業

世田谷アートフリマ（2003〜2017年、P.64）

オリジナルのアート、クラフト作品を販売するアートの“のみの市”。「もの」を通じて、世田谷へ関心をもつきっかけをつくる場でもあり、ワークショップや制作の実演なども含め、作り手との交流が大切にされている。

世田谷アートフリマ

2005 小山奈々子

三軒茶屋・ミカヅキ堂にて

2004

舘内端

たてうち・ただし　一般社団法人日本EVクラブ代表理事、自動車評論家

Q 普段どのような事をしていますか？

A 雑誌・ウェブの連載原稿の執筆及び日本EVクラブ独自のEVイベントや行政等から依頼された環境系イベントの企画や教育用の小型EVの設計製作等です。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 中学生次世代車教室で、いろいろなEVを子どもたちとつくったことと、それを子どもたちに運転させた時の子どもたちの笑顔が素敵で、たくさんの勇気をもらえたことです。

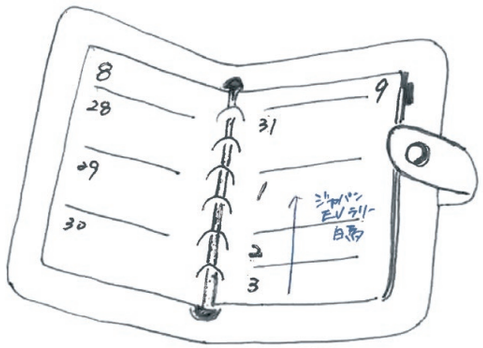
Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒妻

私にとっての妻は、生活のベースであり、過去と現在と未来のすべてです。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A システム手帳



Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 野菜サラダ、シーチキン、わかめの味噌汁、アンズジャムとイチゴ入りヨーグルト、干し柿

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A お昼寝と夢想。公園のベンチといわず駅のホームのベンチ、デパートの椅子など、どこでも寝られます。寝ながら日本EVクラブの次の企画やら原稿のネタを夢想します。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A イアン・マクレラン・ハンター『ローマの休日（大活字英文版名作シリーズ）』（ーBCパブリッシング）

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 羽根木公園

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A これからの20年で石油・石炭・天然ガスから自然再生可能エネルギーへと、エネルギーの大変換が起こります。生活も仕事も交通も大きく変わります。こうした大変化に区民が柔軟に対応できるよう、様々なご提案をお願いします。

舘内さんに協力頂いた事業

せたがや・次世代の交通と環境プロジェクト（2004〜2009年）

自動車のCO2の排出量をデザインや地域の力で減らそうとするプロジェクト。路上での「信号／踏切待ちアイドリングストップ・キャンペーン」やウェブサイトの運営などを通して、継続的にエコドライブの普及に取り組んだ。

そのほか協力頂いた事業

・中学生次世代車教室シリーズ（2005〜2017年、P.60）ほか

せたがや・次世代の交通と環境プロジェクト

世田谷公園にて

小山奈々子

こやま・ななこ　クリエイティブディレクター

2005

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒生き方

毎日の暮らしは、その時自身が何を大切にしているかを問いかける時間の繰り返しだから。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A すき焼き

Q 普段どのような事をしていますか？

A 人や地域とのつながりを大切にアートやデザイン、音楽を通してより豊かな世界を目指し活動中。現在は、動物福祉、里山の暮らしの記録、「羊毛とおはな」の音楽活動など。これからは豆の暮らしを探っていきます！

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 「ただのいぬ。展」をきっかけに、1回の展覧会で終わることなく、次の課題をともに取り組んで頂くなど、生活工房ならではの地域に根ざしたプロジェクトになりました。その後、「活版再生展」「オリッサ・オディッシー展」などの企画にもつながることができました。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A3のスケッチブック

A スケッチブック

Q ・・・・どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 時間があれば温泉、なければ銭湯へ。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A エレーヌ・フォックス『脳科学は人格を変えられるか？』（文藝春秋）

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A ヨーロッパ食堂

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 楽しみながらも社会的メッセージを伝え、暮らしに溶け込むアートやデザインを通して、未来に向けた新しい企画をさらに期待しています。

小山さんに協力頂いた事業

ただのいぬ。展（2005〜2008年）
保健所などに保護された犬の運命を写真と詩で綴った展覧会。飼い主を得た「光の部屋」、殺処分を待つ「暗闇の部屋」のどちらに進むか選択しなければならない構成とした。翌年以降も殺処分をなくすプロジェクトとして展開。

そのほか協力頂いた事業

・オリッサ・オディッシー　東インドの踊りと暮らし展（2010年）
・一服、日本茶、三軒茶屋展（2014年）ほか

ただのいぬ。展

用賀にて

中山晴奈

なかやま・はるな　フードデザイナー

2006

普段どのような事をしていますか？

地域コミュニティ、お店、パーティ、大学の授業、子どものワークショップなど、どんな人がいかに集まって何を得て帰っていくかをデザインする仕事をしています。

協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

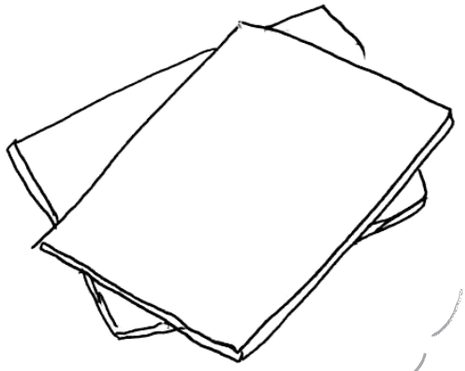
「時間を食べる」というキーワードや、都市農業をしている世田谷の生産者をまわるバスツアー、数々の子どもワークショップは、今の自分の礎になっています。どれも自分にとって大事なテーマになりました。

「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

生活≒食べる

職業、名のない労働、家事。表に出てこないすべての自分も食べるを軸に回っています。

一番の愛用品を描いて下さい。



大理石の板

元々建材コーナーで見つけ、料理を並べる板に。まな板にもなるし、動物はこの上に寝ると涼を取ることも可能らしい。テーブルの台にもパンこね台にも。

昨日食べた夕食を教えて下さい。

手づくり水餃子

どうしても暇ができた時は何をしますか？

人間観察。温泉。部屋の片付け。乾物在庫管理のために料理。

読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

ジャレド・ダイアモンド『銃・病原菌・鉄　1万3000年にわたる人類史の謎』（草思社）

世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

オールアバウトマイクロケット。高校の同級生がオープンした、思い出のつまったコロッケ屋さんです。

これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

今後10年かけて私たちの暮らしはテクノロジーで劇的に変化します。身体や心で楽しんできた幾つかの楽しみが置いてきぼりにならないよう、ふとした瞬間に立ち止まらせてくれる生活工房であり続けてください。

中山さんに協力頂いた事業

夏休みこども体験ワークショップ「豆のスープで世界一周 ―おもてなしのスープをつくろう！」

世界中には18,000種もの豆があり、各地で食べられている。種として発芽するしくみなど植物としての豆や、加工食品についての知識を学びながら、世界各国のスープをつくった。締めくくりには保護者を招いてパーティを行った。

そのほか協力頂いた事業

・はじめの食べもの展（2007年）

・時間を食べる―ドキュメンタリー映画「タイマグラばあちゃん」の暮らしに学ぶ（2009年）ほか

「豆のスープで世界一周」

世田谷丸山公園にて

髙田唯

たかだ・ゆい　グラフィックデザイナー

Q 普段どのような事をしていますか？

A 宣伝広告やロゴマークやパッケージデザインなど、企業や商品やプロジェクトなどのイメージを視覚的に表す仕事を中心にしながら、活版印刷業や音楽事業などもてがけています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 2007年に開催された「活版再生展」は僕の青春です。人生が激変しましたからね。まさか活版印刷をやるようになるなんて、全く想像していませんでしたし。語り尽くせない程の奇跡的な出会いが多発した展覧会です。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

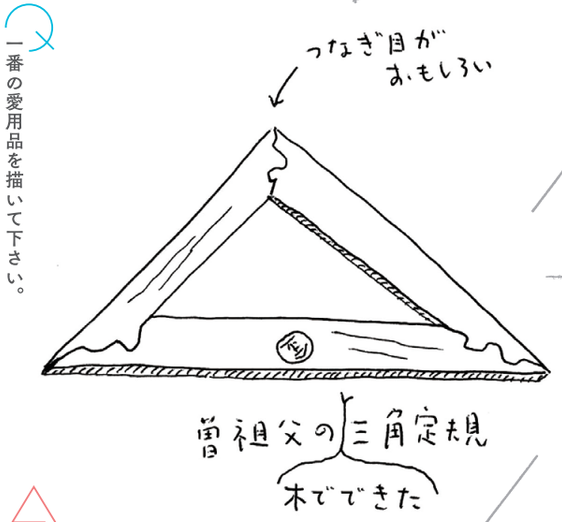
A 生活≒結晶

見たり聞いたり触ったり食べたり、影響されながらできあがっていく自分自身の姿勢や態度の結晶が生活の中に現れるのかもしれないなと思いました。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 自家製のギョーザです。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A 曽祖父の三角定規

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 緑が多いところに行って和むか、展覧会に行って蓄えるか、そういう気分でないときは寝ますね。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 近所に住んでいた男の子からもらった、リチャード・ブローティガン『芝生の復讐』（新潮文庫）。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店、施設など）があれば教えて下さい。

A 正六（宮崎地鶏のお店）

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 僕たちが全く気付けなかったり見過ごしてしまったりするような、世界や近所にある人間の営みのほんの少し先を見据えて、今まで通り「あなたはどう感じる？」って問いかけ続けて欲しいです。

髙田さんに協力頂いた事業

活版再生展

世田谷の活版印刷所から譲り受けた活版機材一式と、デザイナーやアーティスト18名による活版を使用した作品を展示。この企画をきっかけに新提案型活版工房も誕生し、会期中にそのプロトタイプとなる工房を仮設した。

そのほか協力頂いた事業

- Touching the Images ふれる写真展（2008年）
- バスツアーワークショップ「世田谷ノートをつくる」（2009年）ほか

活版再生展

三宿・キタミにて

増田多未

ますだ・たみ　こぐコド・モノ・コト主宰、ワークショップデザイナー

2008

Q 普段どのような事をしていますか？

A コド・モノ・コトの活動から生まれた商品の販売や、子ども対象のワークショップ開発。ワークショップは遊びと学びが乖離しない場作りを心がけています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 『もってくてん』で「こわっか」というロングセラーの商品が生まれたこと。発表に至るまでの過程を丁寧に進めることができたのが印象的でした。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒太陽

日の動きに合わせて自然に生きる…願望です。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

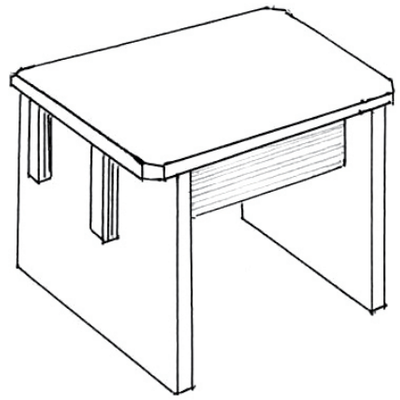
A 豆カレー

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A a) 干し野菜をつくる。太陽の光に当てると栄養価が増すそうです。日々の暮らしに取り入れたいけれどなかなか実際にはできていないので。
b) 旅行に行く。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A 机椅子（こどもワークショップ用）



Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 安岡定子『はじめての論語』（講談社＋α新書）

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 静嘉堂

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 日本に限らずその土地独特の文化をいろいろな切り口で紹介頂けるのを楽しみにしています。風土から生まれるそれぞれの多様性、違いを魅力的なこととして発信して頂ける場が継続的にあることは意義深いです。

増田さんに協力頂いた事業

もってくてん

「こどもとのおでかけに持って行くもの」をテーマに制作したバッグや食器など、10組のプロダクトデザイナーの新作を展示。日々の暮らしの発見から生まれた、子どもと家族の暮らしを楽しむためのデザインが並んだ。

そのほか協力頂いた事業

・子ども体験ワークショップ（2008〜2011年）
・夏の子どもワークショップ「くらし・うるし・研究室」（2012〜2014年）

もってくてん

西太子堂公園にて

軸原ヨウスケ&武田美貴

じくはら・ようすけ&たけだ・みき　COCHAE

Q 普段どのような事をしていますか？

A 紙雑貨のデザインやパッケージデザイン等、「あそびのデザイン」をテーマに（軸原は岡山、武田は京丹後で）仕事をしています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

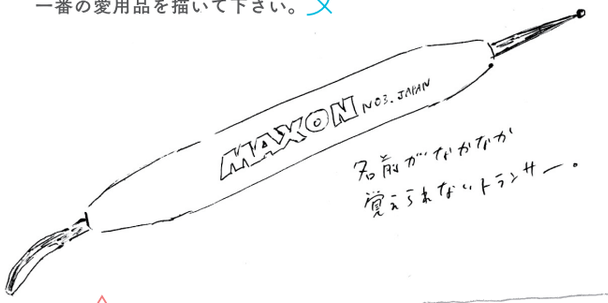
A とにかく巨大プリンターです。当時は関係した事業以外でもいろいろな場面でお世話になっていたので、あの巨大プリンターの出力待ち時間が懐かしいです。リソグラフの紙を折る機械も印象的でした。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒生きること全て

ずっと家と仕事場が一緒できてしまったので、日常生活とつくることの境界線が曖昧なので。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A トランサー

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 運良くパッケージを手がけた「きびだんご」の新年会だったので、季節の魚料理のごちそうでした。

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 暇でなくても時間があったら映画を観たいです。つまり映画によってどうやっても暇にはなりません。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A たくさんありますが、あえて言うなら、プルースト『失われた時を求めて』。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 「和正」のつけ麺

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 自分の活動にもしていこうと思っていますが、民藝運動からはずれてしまったもののフックアップ。

cochaeさんに協力頂いた事業

cochaeの紙nication!!!展

大胆な発想でさまざまなグラフィック折り紙を発表してきたデザインユニットcochaeによる展覧会。代表的な折り紙から、3m四方の巨大な折り紙実験小説まで、機知に富んだデザインが紙の可能性を無限に広げていくさまを体感した。

そのほか協力頂いた事業

- 祈りのデザイン　ミキノクチ展（2010年）
- 日本のポータブル・レコード・プレイヤー展（2016年）

cochaeの紙nication!!!展

西太子堂のバス停にて、生活工房スタッフと

小野雅子

おの・まさこ　ダンス・アーティスト

Q 普段どのような事をしていますか？

A ダンス公演、ダンス・ヨガクラス指導の他、インド文化紹介やインドと日本をつなぐお手伝いをしております。オディシャ・ビエンナーレ芸術祭アーティスティック・ディレクター。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A オディシャ州の地図を新聞紙で切り絵にしたり、特産のイカットのハギレで人形をつくったり、私の着古したダンス練習着がコンテンポラリーなコスチュームに生まれ変わったりと、作家たちがさまざまにオディシャ州を表現してくれたこと。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒アート

無駄なものを削ぎ、必要なものだけですますアートな生活、生き方を心がけています。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A イタリアントマトパスタ

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A インターネットでKARAOKEソングをかけながら思いっきり自宅のダンススタジオで歌う。お風呂に塩や香水やオイルを入れて、体を磨き上げる。世界のトレンドファッションチェックをネットで。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A イタリア公演のあとに頂いた、軽量で畳むと小さくなるダウンコート

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A プロジェクト・マネージメントの本。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 実際これまでの数年では、生活工房に一番高頻度で足を運びました。

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 前回のオディシャ州展示はとてもやりがいがありましたので、また何かインド関連で展示ができれば嬉しゅうございます。焦点を絞られたこれまでの生活工房のイベントの数々に限りなく尊敬の念を抱いております。

小野さんに協力頂いた事業

オリッサ・オディッシー　東インドの踊りと暮らし展

インドの東、ベンガル湾沿岸に位置し、無数の壮麗な寺院遺跡で知られるオリッサ州（近年はオディシャ州との表記が一般的）。この地の古典舞踊で「生きた彫刻」とも形容されるオディッシーを中心に、オリッサの映像や写真、手工芸品などを展示し文化を紹介した。

オリッサ・オディッシー　東インドの踊りと暮らし展　写真：服部貴康

スポーツ ワーズ プロジェクト
飛田正浩

世田谷線・西太子堂駅付近にて

2011

池田晶紀

いけだ・まさのり　株式会社ゆかい主宰、写真家

普段どのような事をしていますか？

写真を撮ったり、サウナに入ったり、釣りをしたり、水草水槽のメンテナンスをしたり、デザインをしたり、映像をつくったり、ワークショップをしたり、展覧会をしたり、学校の先生をしたり、原稿を書いたりしています。

協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

ゆかいなバスツアーでは、思い出を残すことが目的ではなく、わざわざ思い出をつくることを目的にしました。この違いは、写真は過去のモノだけでなく、つくることで未来の自分たちをよろこばせたり、笑わせたりと、見返した時にいいモノになっています。

「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

生活≒アート

日常生活の中にある発見と疑い。

一番の愛用品を描いて下さい。

釣りとサウナ

昨日食べた夕食を教えて下さい。

寿司

どうしても暇ができた時は何をしますか？

その場にはいなくてはならないけど、どうしても時間余っちゃったら、その時目の前にあるモノを見つけ、異様なまでよく見て観察してみる。

読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

森村誠一『老いる覚悟』（ベストセラーズ）

世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

新記

これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

これまで通り、みんなの知恵や経験を活かしたアイデアで、思いついたおもしろいことをカタチにしたり、おしゃべりする場であってほしいです。なので、くつろぎのスペースがもっとあってもいいかもですね。

池田さんに協力頂いた事業

ゆかいな集合写真バスツアー

世田谷の知られざる名所や産業スポットをたずねてきたバスツアーを、「集合写真」をテーマに開催。新しい「ゆかいな集合写真」をつくるため、こどものひろば公園、世田谷八幡宮、善養寺をめぐって撮影した。

そのほか協力頂いた事業

・Touching the Images ふれる写真展（2008年）

・夏の子どもワークショップ「14歳のワンピース」（2011～2017年、P.57）

ゆかいな集合写真バスツアー

生活工房キャラリー「赤をめぐる旅展」会場にて

飛田正浩

とびた・まさひろ　spoken words project 主宰、ファッションデザイナー

2012

普段どのような事をしていますか？

ファッションデザイナーをしています。とはいえちょっとだけ普通のそれとは違ったやり方や考え方でそれをやっています。ファッションとは何なのか？と考えつつ、僕らなりのやり方で服や服にまつわる事柄をつくったりしています。

協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

やはり少女達のかわいらしさでしょうか。女を知り始めるが故のずるさや憎らしさも含めてかわいらしい。彼女達を客観的に知れるということは世の中的にもぼく的にも大切かつ貴重な経験です。

一番の愛用品を描いて下さい。

卵

「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

生活≒ぶっこわせ日常

敢えて言ってみました！　弱るな悲しむなとか、ぶっ壊すならではの仁義や礼儀やサンキューを心にとか、壊したら直さないといけませんがそこからがオリジナリティです。

昨日食べた夕食を教えて下さい。

ジャガイモとベーコンの炒め物、卵焼き、野菜サラダ、お味噌汁、ごはん

どうしても暇ができた時は何をしますか？

ファッションをつくります。

読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

kanabou『盆地文庫』

世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

キャロットタワー、下北沢

これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

性別や役割、世代や思考の違いを考えたファッションの実験をもっともっとやらせて下さい。「14歳のワンピース」は伝説化しつつありますので、ネクストをも。世田谷の人をファッショニスタにすることは日本の夜明けです。

飛田さんに協力頂いた事業

夏の子どもワークショップ「14歳のワンピース」（2011～2017年、P.57）

14歳女子を対象としたファッションデザインワークショップ。自分の気持ちを模様にして、シルクスクリーン技法でプリントに挑戦。工場でワンピースに仕立て、その完成作品を身につけて撮影までを行い、14歳の「今」を記録する。

14歳のワンピース

〈食〉研究工房にて

2013

眞田岳彦

さなだ・たけひこ　衣服造形家

Q 普段どのような事をしていますか？

A 日本の衣服・繊維の研究と造形と教育。美術館・ギャラリーでの作品発表、染織・地域プロジェクト、企業のアート&デザインディレクション、人材育成。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 「赤をめぐる旅展　祝いの水引結び」（P.48）で、芳名帳に何名もの方が、「ありがとうございました」とお礼を書かれていかれたことでしょうか。水引関係の方々をご紹介したのでそれがよかったのかもしれませんが、作品や紀行文を「見て頂く側」だと思っていましたので、お礼を言って頂き、嬉しかったのと同時に驚きもありました。

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒ 我在足下

「自身は足下にあり、足下に幸せはある」。日々現れるさまざまな幸せに気づける自身を育む。それが生活であり生きる事である。30才の時、北極圏グリーンランドを独歩して得た、自身の言葉です。

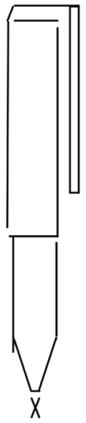
Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A まぐろの塩焼き

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 古寺、遺跡、仏像、古物など、先人が心をこめたものに触れ、人が生きた痕跡や葛藤などがのこる場所に身を置きたいです。風土の記憶を感じ、数多の人が生きた在り様を想像したいと思います。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A 携帯用の伸縮するボールペン

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 現在、「積ん読」しているのは、梅原猛さんの『世界と人間思うままに』（文藝春秋）。少し古い書籍ですが神田で購入して数ヵ月。目次からすると、科学、仏教、文学者や歴史上の人物、文化人類学的な事などが書かれているようです。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 赤提灯の小さな焼き鳥屋さん。シンプルな塩味が美味。

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 人工知能をはじめとするテクノロジーが人に変わって考え、判断する時代になると、人間がどのように心の豊かさを感じてゆくかが重要となってくるでしょう。このような時代に向けて生活工房には、人の心を育むような事業を、人間が生きてゆくうえの基本「衣食住」を通して企画して頂きたいと期待を寄せています。

眞田さんに協力頂いた事業

生命（いのち）をつつむ未来繊維 vol.3　集う衣服 展
――米に集い、集うことで豊かに生きる

「集う」をテーマに、日本産の稲穂を含有するフィルムシートを使用して制作した「プレファブコート“ライス”せたがや」を展示。集うことの意味や「心の安らぎ」と繋がる本当に豊かな生活とは何かを考察した。

そのほか協力頂いた事業

- 眞田岳彦セタガヤーンプロジェクト（2007〜2009年）
- 生命（いのち）をつつむ未来繊維（2011〜2013年）
- 衣服・祝いのカタチ「赤をめぐる旅 展」（2017〜2018年、P.48）ほか

生命をつつむ未来繊維 vol.3　集う衣服展

林のり子

はやし・のりこ　パテ屋店主、〈食〉研究工房主宰

2014

Q 普段どのような事をしていますか？

A レバーパテ造りからスタートしたパテ屋の45年目。週4日スタッフと製造販売しています。また、〈食〉研究工房として地方の風土気候とその土地の日常の生活文化を印刷物にまとめています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 〈食〉研究工房の活動の中でブナ帯文化と出会いました。渡来の稲作文化以前の、日本と欧米の基層文化＝ブナ帯文化共通のフォークロアを、若い皆さんと「ブナ帯☆ワンダーランド」として生活工房に展開できたこと。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A 紙粘土、毛糸、陶器のブローチは宝物。

ほか愛用品はマップいろいろ、ガラス棒型温度計、iPad。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A 家の本棚の「木・森」に関わる本ばかりの一角に川崎寿彦『森のイングランド』（平凡社）が在ることは知っていましたが、そういえば内容について全く覚えがなく、手に取ると読んだ形跡がありません。早速、読むつもり。こんなこともあるのですね。

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A バスの車窓風景：駒沢通りの東側の武蔵野台地の片鱗が見える辺り、例えば：田園調布⇔三軒茶屋、柿の木坂⇔桜新町。
商店街：九品仏、尾山台……小さなワインバーなども。
裏通り：九品仏浄心寺⇔自由ヶ丘……個性的なアトリエ風店舗いろいろ

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 地域の大学＋学生＋市民に声をかけ、世田谷区だけでなく地形的に関わりのある周辺の地域（世田谷・目黒・品川・太田の各区）にまたがる簡単な地形模型を生活工房の一角に常設し、武蔵野台地と国分寺崖線あたりの地形や情報をデータ化する。タモリさんも参加されるかも!?

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

生活≒とりとめもなくボンヤリと外界をみている？

A パテ屋のスタッフ「林さんの発想の原点はメンドクサイですね」。なるほど！その様です。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A パテ屋の仕事が終わってスタッフとビールを1杯。皆が帰ってから手紙類や夕刊に目を通し、テレビを見ながらつづきのビール1～2缶。数時間して、小松菜のお吸い物：トリ心臓のスープ（レバーパテを作る時に出るので、賄いと家で使う）とカツオのだし、ひと塩ニシン半身（マリネ用でキズがあるもの）の塩焼き……うまい！！　焼き海苔、大根と人参のなます（お正月の残り）、ご飯少々、日本酒。

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A テレビ狂なので、雨の日は録りためた録画をチェック。晴れの初冬や桜のころは、多摩川の国分寺崖線に沿った宇佐神社から雙葉学園辺りの急斜面の起伏をぬう沢山の無名の坂や建物を日差しを選びながらウロウロします。

林さんに協力頂いた事業

ブナ帯☆ワンダーランド

落葉広葉樹林帯「ブナ帯」のなかでも、最大のブナ原生林を有する東日本には今も日本の基層文化を成す狩猟採集の暮らしが息づく。この地域のフィールドワークを中心に、世界のブナ帯文化を体感する展覧会。

ブナ帯☆ワンダーランド

生活工房・コミュニティキッチンにて

2015

佐々木光 佐々木真由子

ささき・ひかる　ささき・まゆこ
といのきデザイン事務所、デザイナー

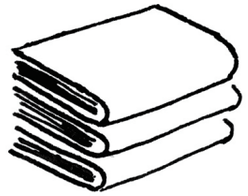
Q 普段どのような事をしていますか？

A 〈自然・生きもの・生きること〉にかかわる、デザインや企画、制作の仕事をしています。絵も描いています。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 時間展制作時、カッティングシートの細かな文字を、杉の角材に数十本、みんなで貼り続けた数日間。今思い起こしても目眩が。あらためて皆さんに感謝です（光）
とても大きな「時の精霊」の壁画を描いたこと（真）

Q 一番の愛用品を描いて下さい。



A 三冊の手帳（光）
パインのカゴ（真）

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒つくること
毎日あたらしく生活をつくりつづけたい（光）

生活≒感じること
この世界を日々感じること（真）

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A ほっけの干物、ひじきとごぼうのキンピラ、はんぺんのお吸い物、たまご納豆、玉こんにゃく、玄米

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 一時間なら本を読み、一日あれば野を歩きます。来月まで暇なら山で絵を描こうかな（光）
あみものや、ふだんしないような料理をします（真）

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A ファーレイ・モウワット『オオカミよ、なげくな』（紀伊國屋書店）（光）
内山節『子どもたちの時間』（農山漁村文化協会）（真）

Q 世田谷区内でよく行く場所（お店・施設など）があれば教えて下さい。

A 世田谷美術館、砧公園（いらか道経由）

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A これからも、生活を深く見つめ直したときのてざわりを語りあえる場であり続けてほしい、と思います。（光）
いつまでも変わらず挑戦的でいてほしいです。（真）

佐々木さんたちに協力頂いた事業

時間をめぐる、めぐる時間の展覧会

私たちにとって時間とは何かを考え、時という視点で世界を見つめる展覧会。星の律動に呼応する生きものの律動の紹介、時と人間の歴史を描いた壁画「時の精霊」の展示、各地の一日を捉えた映像の上映など多様で有機的な時間の流れを示した。

そのほか協力頂いた事業

- I'm so sleepy どうにも眠くなる展覧会（2011年）
- 時をときはなつ（2014〜2015年）

時間をめぐる、めぐる時間の展覧会
撮影：佐々木光

生活工房の一年 2017.4-2018.3

4月

Exhibition　4月5日(水)〜5月14日(日)
眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ vol.1
赤をめぐる旅 展

local Community　4月22日(土)・23日(日)
世田谷アートフリマ vol.27

Exhibition　5月20日(土)〜6月11日(日)
DAYS JAPAN 写真展 2017 地球の上に生きる
世界の未来をつくるために

Seminar　6月15日(木)
第40回世田谷おはなしネットワーク講演会
おはなしおばさん 藤田浩子さんの世界

Exhibition　6月17日(土)〜7月23日(日)
クレオール・ニッポンの旅―無名詩人の民謡から、ニッポンを聴く

Seminar　6月17日(土)・24日(土)・7月9日(日)
生活工房×イシス編集学校「情報編集力連続講座」
3日で編集力を身につける

7月

Workshop　7月1日(土)・15日(土)
映像のフィールドワーク・ラボ vol.1　ひもをうむ

Workshop　7月21日(金)・22日(土)・23日(日)・8月26日(土)
夏の子どもワークショップ　14歳のワンピース

Workshop　7月22日(土)
夏の子どもワークショップ　生活工房×イシス編集学校「大好きな本の伝えかた―読書感想文の編集術！」

Exhibition　7月29日(土)〜8月27日(日)
にしむらあつこ絵本原画展　ぐぎがさんとふへほさん

Workshop　7月29日(土)
夏の子どもワークショップ　日常探検 LABO〜カラフル！色のふしぎ編

Workshop　8月1日(火)
夏の子どもワークショップ　にしむらあつこ絵本原画展 関連企画ワークショップ
「ぐぎがさんとふへほさんのモビールをつくろう」

Workshop　8月5日(土)
夏の子どもワークショップ　家電のある生活展―暮らしのデザインミュージアム2017 関連企画
「あったらいいな！の未来をデザインしよう！」

Workshop　8月12日(土)
夏の子どもワークショップ　第5回世田谷区芸術アワード〝飛翔〟受賞作品展 関連企画
「世田谷を〝はかる〟プロジェクト2017」

Workshop　8月21日(月)・22日(火)
夏の子どもワークショップ　夏のNEWSなアニメーション in NHK技研

Workshop　8月23日(水)〜25日(金)
おはなしいっぱい

9月

Exhibition　9月2日(土)〜10日(日)
世田谷アートフリマ「つながり展2017」

Local Community　9月9日(土)・10日(日)
世田谷アートフリマ vol.28

Exhibition　9月18日(月祝)〜10月15日(日)
家電のある生活展―暮らしのデザインミュージアム2017

岸井大輔

きしい・だいすけ　劇作家

2016

Q 普段どのような事をしていますか？

A 劇作家です。まだ注目されていないドラマを見つけ感じられる形にする仕事です。

Q 協力頂いた事業で印象的だったこと、記憶に残っていることを教えて下さい。

A 生活工房が長い歴史で蓄積してきたモノや知恵や経験の量を、バックヤードや食器棚に集まっている道具から感じたこと。

Q 一番の愛用品を描いて下さい。

A ノートパソコン

Q 「生活」を別の言葉に置き換えて下さい。

A 生活≒楽屋と本番

準備し、本番をし、片付け、休み、また準備し。生活は楽屋と本番の往復です。

Q 昨日食べた夕食を教えて下さい。

A 福島県いわき市でお葬式の時食べるという八杯と茶ぶかしを食べました。

Q どうしても暇ができた時は何をしますか？

A 喜びます。

Q 読もうと思って読んでいない本、買ったけれど読んでいない本があれば教えて下さい。

A スピヴァック『多変数解析学―古典理論への現代的アプローチ』(東京図書)

Q 世田谷区内でよく行く場所(お店・施設など)があれば教えて下さい。

A ボロ市

Q これからの20年で生活工房に期待することを教えて下さい。

A 生活を支えるよく分からないものや考えに光を与え続けてください。

岸井さんに協力頂いた事業

始末をかくエキシビション「生活はふるさとのように上演されている」
アーティスト集団「始末をかく」が、1幕、幕間、2幕の51日間にわたって「生活」をテーマに行った展示／上演。1幕で日常生活を演劇の上演に見立てた戯曲を提示し、2幕ではギャラリーほか各所で実際に連日上演した。

始末をかくエキシビション「生活はふるさとのように上演されている」
撮影：松尾宇人

展覧会 Exhibition

2018 1 2 3月

Exhibition ▬ 2月9日(金)〜18日(日)
第5回世田谷区芸術アワード〝飛翔〟生活デザイン部門受賞展覧会　世田谷を〝はかる〟プロジェクト2017-2018

Local Community ▬ 2月10日(土)
国際交流inせたがや2018

Seminar ▬ 2月18日(日)、25日(日)、3月4日(日)
生活工房×イシス編集学校「情報編集力連続講座」3日で編集力を身につける

Exhibition ▬ 2月24日(土)〜3月18日(日)
「みっける365日」展 アーティストと探す「人生の1%」

Seminar ▬
ZPO・市民活動のためのステップ・アップ講座　組織づくりのためのヒント／コツを学ぼう!!
第3回「メンバーを惹きつける方法を学ぶ」3月6日(火)
第4回「プロボノを活用する方法を学ぶ」3月13日(火)

Workshop ▬ 3月11日(日)、25日(日)
中学生次世代自動車体験教室2018

Exhibition ▬ 3月23日(金)〜4月15日(日)
市民活動支援コーナーの日々展2018

Workshop ▬ 3月24日(土)、31日(土)
映像のフィールドワーク・ラボ vol.3　みみをすます

10 11 12月

Exhibition ▬ 10月21日(土)〜11月5日(日)
穴アーカイブ：an-archive
世田谷の8ミリフィルムにさぐる

Exhibition ▬ 11月11日(土)〜12月10日(日)
クライム・エブリ・マウンテン vol.1　ミャオ族の刺繍と暮らし 展

Workshop ▬ 11月18日(土)・25日(土)
映像のフィールドワーク・ラボ vol.2　こな、ねる、たべる

Local Community ▬ 11月19日(日)
第41回世田谷おはなしネットワーク講演会　真鍋真さんと絵本で学ぶ最新恐竜学

Seminar ▬
ZPO・市民活動のためのステップ・アップ講座　組織づくりのためのヒント／コツを学ぼう!!
第1回「組織づくりに必要なこと」12月2日(土)
第2回「活動資金を集めるには」12月19日(火)

Exhibition ▬ 12月20日(水)〜2018年2月4日(日)
眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ vol.2　赤をめぐる旅展　祝いの水引結び

通年

Exhibition ▬ 毎週水曜
森・里・海の連環　レリーフジオラマ上映

Local Community ▬
穴アーカイブ

Local Community ▬
みっける365日

Seminar ▬
朗読講座

眞田岳彦ディレクション／衣服・祝いのカタチ

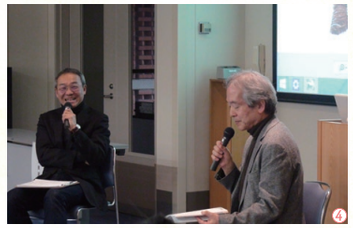
赤をめぐる旅 展

日本の祝いに伝承される「赤」という色彩

日本人にとって「赤」色は、祝事や魔除けをはじめ、生活に息づく色としても特別な意味をもつ。

「赤をめぐる旅展」は、日本の繊維を原材料に作品を発表してきた衣服造形家・眞田岳彦氏の監修のもと、日本の伝統色「赤」の多彩な表現に着目して、日本人ならではの美意識と知恵を紐解いた。民俗学、江戸化粧、古典織物、紅板締め、紅花染め、美術など、さまざまな領域の専門家10名の寄稿文と、羊毛をベンガラで染色した眞田氏による作品が展示された。

「祝いの水引結び」では、水引を通して〝赤と祝い〟の関係を考察。水引は主に冠婚葬祭の場で使用されてきた。なかでも赤の水引は、祝いの品に特定の結び方を施すことで、日々の生活に祝いの気持ちを継いでいる。眞田氏が日本各地（東京、長野、金沢、福井、京都）の「水引の赤」を訪ねた旅の記録をはじめ、各地の水引文化を紹介。紅白の水引による眞田氏の作品には、日本人の祈りと心の豊かさが表現されていた。



①vol.1「赤をめぐる旅展」　②ベンガラと羊毛を使用した衣服作品（眞田岳彦氏制作）　③vol.2「祝いの水引結び」　④トークイベント「日本人と祝い」
撮影：栗原諭（①～③）

vol.1 赤をめぐる旅展
開催日時：2017年4月5日（水）～5月14日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：7,221名　企画制作進行：SANADA Studio inc.　協力：伊勢半本店 紅ミュージアム、山形県河北町紅花資料館、桶川市歴史民俗資料館、お茶の水 おりがみ会館、たかさき紅の会

《関連企画》
トークイベント「日本文化と赤の色」
開催日時：4月16日（日）14:00～16:00　会場：セミナールームAB　登壇者：山崎和樹（草木染研究家）、中島洋一（古典織物研究家）　進行：眞田岳彦（衣服造形家、本企画ディレクター）　参加人数：70名　参加費：500円

vol.2 赤をめぐる旅展　祝いの水引結び
開催日時：2017年12月20日（水）～2018年2月4日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：8,344名　企画制作進行：SANADA Studio inc.　企画協力：株式会社榛原　取材協力：飯田水引協同組合、池田水引、大嶋雁金屋、加賀水引 津田水引折型、神明堂、水引屋 大橋丹治

《関連企画1》
ワークショップ「祝いのお正月飾りづくり」
開催日時：12月28日（木）10:30～12:30／15:00～17:00 各1回完結　会場：ワークショップルームA　講師：SANADA Studio inc.　参加人数：41名　参加費：2,000円

《関連企画2》
トークイベント「日本人と祝い」
開催日時：1月21日（日）14:00～16:00　会場：セミナールームAB　登壇者：赤坂憲雄（民俗学者）、眞田岳彦　参加人数：56名　参加費：500円

60代 女性の声　日本人として“祝うこと”の大切さを再考した。

DAYS JAPAN写真展2017　地球の上に生きる

世界の未来をつくるために

世界の行く末、私たちは何ができるのだろう

フォトジャーナリズム月刊誌DAYS JAPANが主催する「DAYS国際フォトジャーナリスト大賞2017」の受賞作品を中心に写真展を開催。写真は74ヶ国から寄せられた1万点以上の作品から厳正な審査で選ばれた。

世界には、今この瞬間にも厳しい現実に直面して暮らす人々がいる。テレビや新聞の報道、インターネットから連日流れてくる世界情勢は混沌を増すばかり。貧困、環境汚染、砲火のなか命懸けで撮影された写真には、計り知れない程多くの「怒り」「悲しみ」「苦しみ」が映し出されている。

カメラ越しに切り取られた視線は、同じ時代を生きる私たち人類に向けた厳しい問いかけでもある。私たちの暮らす地球上には、多様な民族の生活が存在している。国籍や文化の違いがあっても、人間がもつ「生命の尊さ」に違いなどないはずだ。

本展をご覧になった方が、改めて世界で起きている問題と向かい合い、この現実について考えるきっかけとなることを願う。

開催日時：2017年5月20日（土）～6月11日（日）11:00～19:00（最終日は17:00まで、月曜休み）
会場：ワークショップルームB　来場人数：2,991名　共催：株式会社デイズジャパン　企画：株式会社世田谷社

同時開催「フォトジャーナリストが伝える　世界の自然災害と人々」
会場：生活工房ギャラリー

《関連企画》
トークイベント「わたしのフォトジャーナリズム―“人間の戦場”から」
開催日時：5月20日（日）14:00～16:00　会場：セミナールームAB　進行：広河隆一（フォトジャーナリスト、DAYS JAPAN発行人）　参加人数：51名　参加費：500円

①会場　②「シリア・アレッポ瓦礫からの救出」アミール・アルハルビ／AFP　③同時開催「フォトジャーナリストが伝える　世界の自然災害と人々」　④広河隆一氏　撮影：栗原諭（①③④）

50代 男性の声　私たちの認識以上に、世界の現実は厳しい。

クレオール・ニッポンの旅

無名詩人の民謡から、ニッポンを聴く

松田美緒とめぐる、多様な日本の姿

〝うたう旅人〟として活動する松田美緒氏は、「クレオール」というキーワードをもとに日本の多様性／地域性に着目した音楽活動を行っている。今回、これまでの松田氏の取り組みを紹介する初の展覧会を開催した。

会場では、ハワイやブラジルへ渡った日本人、長崎県伊王島に暮らしたキリシタン、徳島県祖谷（いや）の木びきさんなど、市井の人々が紡いできた歌を資料とともに展示。ブラジル移住をPRする当時の映像や生活用品、松田氏のフィールドノートなど50点余りの資料から、そうした歌の背景を紐解いていった。また、会期中に開催した「小さなギャラリーツアー」では、本人自ら一日限りのスペシャル・アテンダントを務め、好評を博した。

2017年2月のプレイベントで、松田氏は「画一化した日本ではないものを、歌が教えてくれる」と語っていた。時空を超えて私たちに届けられる贈物＝音楽に、今改めて耳を傾けたい。

開催日時：2017年6月17日（土）～7月23日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：6,751名　協力：JICA横浜 海外移住資料館　特別協力：株式会社アルテスパブリッシング

《関連企画1》
松田美緒とめぐる小さなギャラリーツアー
開催日時：7月8日（土）14:00～17:00　会場：生活工房ギャラリー　参加人数：62名　参加費：無料

《関連企画2》
ミニライブ＋トーク「クレオール・ニッポンの旅」
開催日時：7月9日（土）14:00～15:30　会場：ワークショップルームB　出演：松田美緒（うた）、鶴来正基（キーボード）、渡辺亮（パーカッション）、平石安雄（祖谷のうた）　参加人数：48名　参加費：2,000円

①松田氏のフィールドノートや資料　②会場の様子。イラストはしまだなな氏。③音源のほか当時の映像なども展示　④関連イベントでのライブ風景
撮影：高田洋三（①～④）

30代 女性の声　肌感覚に近い移民のことを知れて良かった。

家電のある生活展

暮らしのデザインミュージアム2017

私たちの生活は、家電とともに変化してきた

開館した年に開催した「暮らしのミュージアム展」。そこで描かれていた未来は、20年を経て現在となった。この20年、私たちの生活はどのように変化したのだろうか？

本展では家電誕生から60余年の暮らしを、各年代を象徴する「三種の神器」と呼ばれた家電製品などの展示で振り返った。

遡れば1950年代の高度経済成長期以降、「冷蔵庫」「洗濯機」「白黒テレビ」などの家電製品が登場。私たちのライフスタイルは家事や娯楽においても、家電製品の普及とともに大きく変化してきたといえる。2000年代にはインターネットやAIなど、製品に求められる価値や役割そのものも変化した。

ご飯を美味しく炊くために開発されてきた炊飯器の変遷から感じたのは、いつの時代も家電製品には〝人々が暮らしを豊かに感じるための技術〟が詰まっていることだ。これからの時代、新しい家電製品は、私たちの生活とどのような関係を築いていくのだろう。

開催日時：2017年9月18日（月・祝）～10月15日（日）11:00～19:00　会場：ワークショップルームAB／生活工房ギャラリー　来場人数：2,896名
企画制作：武正デザイン事務所　協力：有限会社デザインオフィス ジー・ワン オー・デザインコレクション、公益財団法人日本インダストリアルデザイナー協会 デザインミュージアム委員会、東芝未来科学館、一般社団法人日本EVクラブ

《関連企画1》
夏の子どもワークショップ2017「あったらいいな！の未来をデザインしよう！」
開催日時：8月5日（土）10:00～16:30　会場：ワークショップルームB　対象：小学3年生～6年生　講師：矢野 英樹（デザイナー、多摩美術大学情報デザイン学科准教授）　参加人数：22名　参加費：500円

《関連企画2》
トークイベント「電気自動車はライフスタイルをどう変えていくのか？」
開催日時：9月23日（土・祝）14:30～16:00　会場：ワークショップルームA　ゲスト：舘内端（自動車評論家／日本EVクラブ代表）　進行：武正秀治（プロダクトデザイナー／多摩美術大学教授）　参加人数：16名　参加費：500円

《関連企画3》
トークイベント「ご飯をめぐる“美味しい”のデザイン～最新炊飯器にみる家電の進化」
開催日時：9月30日（土）14:30～16:00　講師：和泉修壮（タイガー魔法瓶株式会社 ソリューショングループ みらい研究所）、渡辺正弘（タイガー魔法瓶株式会社 ソリューショングループ デザインチーム）　進行：武正秀治　会場：ワークショップルームA　参加人数：28名　参加費：500円

①私たちにとって「家電のある生活」はあたりまえ？　②羽釜の時代から最新炊飯器までの変遷を展示　③1950年代の三種の神器　④子どもたちが考えた未来の生活も展示
撮影：栗原諭（①～③）

70代 女性の声　古きを懐かしみ、新たな発想に驚きました。

クライム・エブリ・マウンテン vol.1

ミャオ族の刺繍と暮らし展

山々に踊る、家族のためにつくられた美しき衣装

中国・西南部の貴州省に多く暮らすミャオ族（苗族）は、地域によってさまざまに異なる美しい民族衣装で知られている。「布目から魔が入る」との言い伝えがあり、赤ん坊のための背負い帯などは、特にびっしりと隙間なく、幼い命を守る護符のように刺繍を施す。

本展のために、愛知県常滑市にある私設の苗族刺繍博物館より民族衣装や背負い帯、祭りの装飾品など約60点をお借りした。4階会場では「ミャオ族の一年と民族衣装」と題し、「百苗」との言葉があるほど多彩なバリエーションがある衣装を、多様な技法の説明とともに展示した。あわせて、ちょうど展覧会の始まる11月中旬頃に正月を迎えるミャオ族の暦をたどるように、1年間の祭礼や農作業の様子なども写真や映像などで紹介した。3階会場では「ミャオ族の子どもの世界」と題して背負い帯や子供の帽子、服、靴などを展示。その緻密さと愛情あふれる手しごとに、来場者はルーペをにぎりしめ見入っていた。

開催日時：2017年11月11日（土）～12月10日（日）11:00～19:00（月曜休み）　会場：ワークショップルームB／生活工房ギャラリー　来場人数：10,318名　特別協力：苗族刺繍博物館　協力：大福書林、貴州省日本観光センター／日中平和観光株式会社、アジア太平洋観光社、慶応義塾大学アジア基層文化研究会

《関連企画1》
山の映画祭「山々の人々の日々」
開催日時：8月11日（金・祝）13:00～17:00　会場：セミナールームAB　上映作品：「西米良の焼畑」「ぜんまい小屋のくらし」「日光山地の鹿狩りと狩猟文化」（民族文化映像研究所）、「アカ族の米づくり　タイ山地民」「キルギス族の生活　シルクロード」「マラムレシュの羊飼い　山の一日」「アンデス高地の一日　ペルー南部」「苗年節　貴州省雷山県　ミャオ族の正月」（国立民族学博物館）　参加人数：112名　参加費無料

《関連企画2》
トークイベント「ミャオの刺繍と出会って」
開催日時：11月11日（土）14:00～15:30　会場：ワークショップルームA　講師：佐藤瑞代（苗族刺繍博物館館長）　参加人数：80名　参加費：500円

《関連企画3》
出張ツアーカウンター開設！「みんなでつくる貴州ツアー」
開催日時：12月2日（土）11:00～16:00　会場：ワークショップルームA　トーク：新居幸治（Eatable of Many Orders）、安藤僚子（デザインムジカ）、金森香（ドリフターズインターナショナル）　ツアー相談：貴州省日本観光センター　ピカピカ布ワークショップ：新居幸治　協力：アジア太平洋観光社／中國紀行 CKRM　参加人数：206名　参加費無料

《関連企画4》
ワークショップ「堆繍（ドイシュウ）体験教室」
開催日時：12月9日（土）13:00～16:00　会場：ワークショップルームA　講師：佐藤瑞代（苗族刺繍博物館館長）　参加人数：20名　参加費：2,500円（材料費込）

①色とりどりの民族衣装が迎える会場　②美しく緻密な手しごとに目を奪われる　③卵白を使ったピカピカ布ワークショップ　④堆繍体験教室では、小さな布片を重ねて模様をつくった
撮影：田中由起子（①②）

70代 男性の声　生命の誉れ、魂の吐露。観ていると限りない励ましを与えてくれる。

「みっける365日」展

アーティストと探す「人生の1%」

撮って、繋いだ、だれかの1年

2017年の丸1年間をかけて、「みっける365日」では隔月のワークショップを行った。会社員、主婦、江戸東京野菜コンシェルジュなど、バラエティ豊かな参加者22名が、サポート・アーティスト4組（北川貴好、青山悟、タノタイガ、キュンチョメ）と1年間を過ごし、表現者となり迎えた本展でその成果を発表した。

これまで北川氏が各地で開催してきた「みっける写真道場!!」は、1日に1000枚の写真を撮り、高速スライドショーにして発表する即日完結のワークショップである。今回のプログラムは、1日ではなく、1年。本展ではこの1年分の写真に加え、そこから派生して生まれた作品も各ゼミのディレクションのもと展示した。

ある視点やこだわりに貫かれた22名の膨大な写真が、一堂に会した展示空間。彼らの1年間を通して、同じ時間を過ごす私たち自身の日常を捉えなおすとともに、来場者の創造性を触発する場となった。日々何気なく撮りためた写真のなかにも、日常を遊ぶ契機が潜んでいる。

開催日時：2018年2月24日（土）～3月18日（日）11:00～19:00（月曜休み）　会場：ワークショップルームAB／生活工房ギャラリー　来場人数：6,221名　サポート・アーティスト：北川貴好、青山悟、キュンチョメ、タノタイガ

《関連企画1》
トークイベント「『みっける』って、なんなん？」
開催日時：2月24日（土）14:00～15:30　会場：セミナールームAB　講師：北川貴好（美術家、「みっける写真道場!!」師範）、石田喜美（教育学者）ほか　参加人数：23名　参加費無料

《関連企画2》
タノタイガのマイル塾 in みっける365「あなたは今日何マイル手にいれましたか？」
開催日時：2月25日（日）13:00～15:00　会場：ワークショップルームA　講師：タノタイガ（美術家）　参加人数：4名　参加費：1,000円

《関連企画3》
「キュンチョメのダークツーリズムガイド」
開催日時：2月25日（日）19:00～20:30　会場：ワークショップルームB　講師：キュンチョメ（アートユニット）　参加人数：16名　参加費：500円

《関連企画4》
北川貴好プレゼンツ「占い師とめぐる全体講評会」
開催日時：3月3日（土）19:00～20:30　会場：ワークショップルームA　講師：北川貴好（美術家、「みっける写真道場!!」師範）、大塚ひさよ（占い師）、森田幸江（みっける探偵）　参加人数：18名　参加費：500円

《関連企画5》
青山悟×小金沢智トークイベント「世田谷／目黒から語るアートの現在」
開催日時：3月4日（日）14:00～15:30　会場：ワークショップルームB　講師：青山悟（美術家）、小金沢智（太田市美術館・図書館学芸員）　参加人数：15名　参加費：500円
※その他、参加者らによるイベントも多数開催。

①生活工房4階を余すことなく使った展示構成　②街並みのようにも見える北川貴好ゼミ　③3階ではゼミ紹介映像と22人の1年分の写真を展示　④ゲストに占い師を招いた講評会など、ユニークなイベントも多数開催。
撮影：大洲大作（①～③）

40代 男性の声　1人1人の世界の見方が丁寧に視覚化されていた。

ワークショップ Workshop

Exhibition

にしむらあつこ絵本原画展

ぐぎがさんとふへほさん

ふしぎなふたりのたのしいまいにち

がっしりおもい「ぐぎがさん」と、ふわふわかるい「ふへほさん」。ふたりがくらす家では、いつもなにか不思議なことがおこります――。『ぐぎがさんとふへほさん』をはじめ、『ホネホネさん』シリーズなどでしられる絵本作家・にしむらあつこ氏の作品は、目を引く力づよいラインの絵と、くすっと笑みがこぼれるようなユーモアあふれる表現で、多くの読者を魅了してきた。

本展では『ぐぎがさんとふへほさん』（福音館書店刊）の原画をメインに、「へびのこ」の1年を描いた『野をこえて』（ビリケン出版刊）の原画も全点展示し、夏休みにふさわしい家族で楽しめる絵本原画展として開催した。ワークショップで制作したモビールのぐぎがさんとふへほさんも会場内に展示され、涼しげに揺れながら、展覧会を盛り上げていた。

「おはなしいっぱい」（P.64）の3日間には、『ゆうびんやさんのホネホネさん』『ルルル　ラララ』の絵本原画もおはなし会会場に特別展示した。

開催日時：2017年7月29日（土）～8月27日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：5,807名　協力：福音館書店、ビリケン出版、世田谷おはなしネットワーク、TSUTAYA三軒茶屋店

《関連企画1》
3日間の特別展示
開催日時：8月23日（水）～25日（金）11:00～15:00　会場：ワークショップルームB（「おはなしいっぱい」会場内）

《関連企画2》
「ぐぎがさんとふへほさんのモビールをつくろう」
開催日時：8月1日（火）13:30～16:00　会場：ワークショップルームA　講師：森友見子（造形作家）　対象：小学校1年生以上　参加人数：19名　参加費：500円

①自由に絵本を読めるコーナー
②モビールも揺れる原画展会場
③紙から粘土をつくってモビールにしよう　④「おはなしいっぱい」会場内での原画展示も

30代 女性の声　赤ちゃん連れでも見られる展示がとてもうれしい。

映像のフィールドワーク・ラボ

観る、やってみる

「映像の百科事典」をつくることを目的に、ドイツで1952年に始まったプロジェクト「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」（以下「ECフィルム」）。世界各地に生きる人々の暮らしや儀礼、動植物の生命活動が映像に収められている。

本企画は、ECフィルムに記録された世界をフィールドワークし、ラボ（実験）するワークショップ・シリーズとして実施。いわゆる講師は不在であり、映像そのものを講師として、見よう見まねで「やってみる」ことに主眼を置いた。

vol.1「ひもをうむ」では巨大なリュウゼツランの葉から繊維を採る映像を観て同じ作業に挑戦し、さまざまな動植物由来の繊維から紐を績（う）んだ。vol.2「こな、ねる、たべる」では多種多様な雑穀を脱穀し、粉にして練った食事を中心とした「ねりねりパーティー」を開いた。vol.3「みみをすます」では、映像の世界を全身で楽しむための演出や空間構成を参加者が考え、会場いっぱいに展開した。

①「竜舌蘭繊維の糸づくりと紐づくり」（コロンビア・アルファコ族／1969年）　②映像を観てから、リュウゼツランの繊維を採り出す　③中国の村と同じ技法で長い縄をつくる　④ルーマニアの映像を観ながら「ママリガ」をつくる

vol.1ひもをうむ
開催日時：2017年7月1日（土）11:00〜16:00、15日（土）13:00〜17:00　会場：ワークショップルームAB　参加人数：71名（うち上映会のみ40名）　協力：東京都夢の島熱帯植物館

vol.2こな、ねる、たべる
開催日時：2017年11月18日（土）、25日（土）10:00〜16:30　会場：ワークショップルームA　参加人数：45名（うち上映会のみ25名）　協力：世田谷区生涯学習・地域学校連携課、株式会社島田製粉所、植物と人々の博物館、NPO法人FENICS、川上香

vol.3みみをすます
開催日時：2018年3月24日（土）、31日（土）11:00〜16:30　会場：ワークショップルームAB　参加人数：31名（うち上映会のみ9名）　協力：NPO法人アートフル・アクション

企画進行：ECフィルム活用チーム 下中菜穂（造形作家・もんきり研究家）、丹羽朋子（文化人類学者）　協力：公益財団法人下中記念財団　参加費：各2,500円（vol.3のみ2,000円、上映会のみの参加は各500円）

70代女性の声　手があれば何でもできるのだと思いました。

夏の子どもワークショップ2017

14歳のワンピース

一度きりの14歳の夏

7年目の開催となる14歳女子限定のワークショップ。1日目は自分の好きな歌詞や、大切にしている言葉の発表を行いながらの自己紹介。講師の飛田氏が質問をしながら、学校や部活のこと、趣味や恋愛のことなど、言葉に重ねた14歳の気持ちを引出す。そしてデザインを生み出すために、折り紙を使ってイメージを色・形に表し、大きな紙に配置して、デザインを考えていく。

2〜3日目は、図形を切り抜いた「型紙」をつくり、シルクスクリーンの技法を応用して布にプリントする。制作が進むと14歳の心の色が、ワークショップルームにあふれてくる。完成したテキスタイルには「存在」「ハルジオン」「No Rain No Rainbow」などのタイトルが付けられた。

8月には、工場で仕立てたワンピースを着ての撮影会を開催。一人の参加者が見つけてきた「人が空想できるすべての物事は起こりうる現実である」という先人の言葉が、まさに具現化した4日間だった。

開催日時：2017年7月21日（金）、22日（土）、23日（日）10:00〜17:00［制作］、8月26日（土）13:00〜17:00［撮影会］　会場：ワークショップルームAB　講師：spoken words project 飛田正浩　対象：中学2年生女子　参加人数：15名　参加費：4,000円　協力：池田晶紀（ゆかい）

①カラーセロファンの折り紙で色の重なりも考えてみる　②生地の上に、型紙、紗が張ってある枠、インクをのせてプリントする　③笑顔の一瞬にシャッターを切る　④みんなで記念撮影
撮影：ゆかい（③④）

中学2年生女子の声　自分で洋服をつくってみるのが夢だった。友達もつくれた。最後の撮影会で想い出に残せることがいいと思った。

夏の子どもワークショップ2017

夏のNEWSなアニメーション in NHK技研

映像や放送の仕事、夢じゃない

映像と放送のしくみを、自分でつくる・やってみることでまるごと体験するワークショップ。午前中はピクシレーションという技法で、実写のコマ撮りアニメーションを制作した。現実の風景のなかで、モノが勝手に動いたり、ヒトが飛んだり瞬間移動したり、ありえない動きを生み出せることが特徴だ。今年は映像に欠かせない「音楽」からイメージを膨らませて、どこで？　だれが？　なにを？　のストーリーを考える。動画をつくるために1秒あたり8フレーム（8枚の静止画）に設定し、1コマ1コマ、演技や演出を考えながら撮影した。

午後はスタジオに移動して、アニメーションを紹介するニュース番組の収録。出演者とカメラ、音声、フロアディレクター、テクニカルディレクターなどの制作者の両方を体験した。午前中の賑やかさとは一転、本番前の静寂、みんなの緊張した表情と声、そんななかで発揮される表現力やユーモアには毎度感心させられる。

開催日時：2017年8月21日（月）・22日（火）10:00～17:00　各1日完結　会場・共催：NHK放送技術研究所　講師：小柳貴衛（東京工芸大学助教）音楽制作：橋本裕充　対象：小学3年生～中学生　参加人数：46名　参加費：500円　協力：東京工芸大学、一般財団法人NHK放送研修センター

①空中浮遊の映像をつくるため、ジャンプの瞬間を撮影　②タブレットやアプリの使い方はお手のもの　③台本のセリフやアドリブコメントもバッチリ　④スタジオに張りつめる緊張感

小学6年生女子の声　将来の夢がアナウンサーなので、とても良い体験ができました。

夏の子どもワークショップ2017

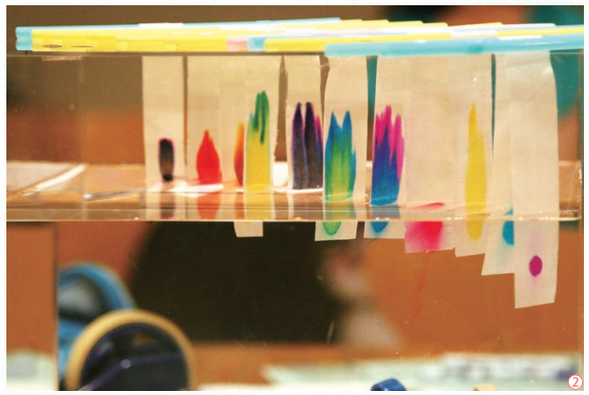
日常探検LABO～カラフル！　色のふしぎ編

日常の中に満ち満ちているサイエンス

クロマトグラフィーという、色を分解することで美しい色模様が生まれる現象を応用して、カラフルなフレームの眼鏡をつくった。

まずは実験と観察。短冊にカラーペンで点を描き、その端を水に浸しておくと……一つの色が分解され、何色もの色を滲み出しながら紙の上を上昇していく。なぜ？　どうして？　よく観察すること、そこからさまざまな問いが生まれてくる。次に丸い紙にカラーペンで絵を描き、真ん中にスポイトで水を落とすと、放射状に色が滲み、思いもよらないカラフルな模様が生まれる。眼鏡の形に切り抜いて、光のスペクトルを見ることができる回折格子というシートを付けて、ラミネートして紐をつければ、〝日常探検眼鏡〟が完成！

科学は身近に起こる自然現象のひみつを解くことであり、その研究から生まれた多くの技術が、私たちの生活に活かされている。デザイン×アート×サイエンスの分野を横断するワークショップとなった。



開催日時：2017年7月29日（土）11:00～13:00／15:00～17:00　各回完結　会場：ワークショップルームAB
講師：日常探検LABO（おかだゆか＋吉田貴寿＋遠山美月）　対象：小学3年生～中学生　参加人数：44名　参加費：1,000円

①いつまで見ていても飽きない色の変化　②何色もの色を混ぜて一つの色がつくられている　③眼鏡で世界をのぞいてみよう　④会場も記念撮影フレームも、カラフルに楽しく設えた

小学3年生女子の保護者　理科的要素もあり、図工的要素もあり、子どもはとても楽しめたと思います。

セミナー／地域と市民活動 Seminar / Local Community

Workshop

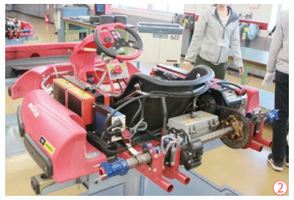
中学生次世代車教室2018

これからの社会を担う新しいモビリティを体験！

これからの社会には、より便利で快適な移動が可能な新しい交通手段が求められている。近年は、地球温暖化・石油の枯渇という環境・エネルギー問題を背景に、世界的に自動車の電動化が進められてきた。近い将来に自分で自動車を運転するようになる中学生たちにとって、電気自動車が果たす役割を学ぶことは、未来のライフスタイルを考える上でも重要なことだ。

体験教室では、企業の開発者や専門家の指導のもと、次世代自動車の代表であるPHVやパーソナルモビリティ（EV）の理解を深めた。小型の電動レーシングカートを教材に、その構造について調べながら、自分たちの手で組立作業も行った。実際に電動レーシングカートを試乗コースで走らせた時の感動は、次世代を担う中学生たちにとっても貴重な体験となった。

また、試乗データから、新たなプログラムを制作する「プログラミング」も体験。人と自動車の新たな関係を実感できる充実の2日間となった。



開催日時：2018年3月11日（日）11:00〜16:00、3月25日（日）13:00〜16:00　会場：東京都立総合工科高校（11日）、トヨタ東京自動車大学校（25日）　企画進行：日本EVクラブ　共催：東京都立総合工科高校、トヨタ東京自動車大学校　対象：中学生（世田谷区在住、在学）　参加人数：25名　参加費：3,500円

①トヨタ自動車大学校のコースで試走も体験　②参加者の手で小型電動レーシングカート（ERK）を組み立てた　③自動車を通して「地球温暖化とエネルギー」を考えた　④次世代を担う中学生にも充実した2日間となった

生活工房×イシス編集学校　情報編集力連続講座

3日で編集力を身につける

多様化する「情報」を整理して、上手な付き合い方を学ぶ

「情報編集力」とは、日々更新される多様な情報を取集しながら、いかに自身が選んだ情報を組み合せ、新しい見方や意味を見出し、どうすれば独創的な発想が生まれ、より相手にも伝わる表現となるかを創造すること。インターネット上に開講する「イシス編集学校」で学ばれている基本的な情報編集プロセスの一端を新しい思考方法や、情報編集を実践的に体験学習した。

本年は夏休み子ども企画「大好きな本の伝えかた―読書感想文の編集術！」も開催。小中学生も、本の魅力を引き出して、人に伝えることの楽しさについて体感した。

「目次読書法」など編集術の面白さを体験

[vol.3]
開催日時：2017年6月17日（土）、24日（土）、7月9日（日）14:00〜16:30 全3回完結　参加人数：37名

[vol.4]
開催日時：2018年2月18日（日）、25日（日）、3月4日（日）14:00〜16:30全3回完結　参加人数：38名　会場：セミナールームAB／イシス編集学校「本楼」　参加費：各5,000円（全3回分）　共催：イシス編集学校

夏休み子どもワークショップ
「大好きな本の伝えかた―読書感想文の編集術！」
開催日時：2017年7月22日（土）14:00〜16:30　参加人数：42名（親子2人1組）　会場：イシス編集学校「本楼」　参加費：1組1,000円　共催：イシス編集学校

30代 女性の声　編集することで「自分らしさ」を再認識できるのが面白い。

朗読講座

豊かなことばの世界

日本語の豊かさ、美しさを体感する

朗読の基礎から応用まで幅広く学び、ことばの奥深い世界を体感する講座。NHK日本語センターのアナウンサーが講師となり、聞きやすい声の出し方や聞き手に伝えるための読み方を少人数のクラスで丁寧に指導した。題材は日本文学のなかからなじみの深い作品を取り上げ、声で表現する楽しさを実感しながら、ことばの奥深さを堪能する時間となった。

朗読発表会では、35名の受講生が多様な声や言葉のニュアンスで作品世界を豊かに表現し、聞き手とともに日本語の美しさを実感した。

〈取り上げた作品〉
芥川龍之介「羅生門」
森鷗外「高瀬舟」
小川未明「二度と通らない旅人」
宮沢賢治「どんぐりと山猫」、「よだかの星」
新美南吉「おじいさんのランプ」
亀井勝一郎「大和古寺風物詩」
平岩弓枝「花影の花―大石内蔵助の妻」
乃南アサ「青年のお礼」
向田邦子「父の詫び状」
加納朋子「モノレールねこ」
寺田寅彦「夏目漱石先生の追憶」

開催日時：年4回（4月期、7月期、11月期、2月期）　各4講座（水曜午前・午後、木曜午後、金曜午後）　会場：セミナールームA　講師：一般財団法人NHK放送研修センター日本語センター　対象：一般　参加人数：215名　参加費：20,500円（4回分）、アーツカード会員は18,500円　共催：一般財団法人NHK放送研修センター日本語センター

朗読発表会
開催日時：2018年3月4日（日）13:30〜16:00　会場：セミナールームAB　参加人数：110名　参加費：無料

穴アーカイブ：an-archive

記録に残った12時間、残らなかった30年

昭和30〜50年代にかけて、世田谷の暮らしを記録した8ミリフィルム。当時の様子を伝える貴重な映像資料だが、そのほとんどは押し入れに眠ったままになっている。穴アーカイブは、そうしたフィルムの収集・公開・保存・活用する取り組みとして、2015年から展開している。

今回は初めて展覧会を開催し、前年までにデジタル化した81点、合計12時間を超える全映像を公開した。また、フィルム提供者と上映会で交わした音声（文字起こし）も対応する映像とともに展示。映像には残っていないが、映像を介すことで想起された当時の記憶。このテキストは映像記録の不在（＝穴）を示す一方で、世田谷に関する短い生活記録にもなっている。

穴アーカイブは、この記録の不在という観点から8ミリフィルムのアーカイブ活動に取り組んでいる。私たちの生活にアーカイブがどう関わっているのか、世田谷の8ミリフィルムを事例に今後も探っていきたい。

①,②展覧会の様子　③鑑賞会の様子　④上映会の様子
撮影：松尾宇人（①〜③）

募集期間：2017年4月25日（火）〜7月15日（土）
提供フィルム数（提供人数）：17本（6名）　企画制作：remo［NPO法人記録と表現とメディアのための組織］

《関連企画1》
展覧会「穴アーカイブ：an-archive　世田谷の8ミリフィルムにさぐる」
開催日時：10月21日（土）〜11月5日（日）9:00〜20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：2,230名　入場無料

《関連企画2》
8ミリフィルム鑑賞会vol.3
開催日時：11月3日（金・祝）14:00〜15:30　会場：ワークショップルームB　来場人数：78名　入場無料

《関連企画3》
せたがやアカカブの会
開催日時：6月7日（水）・8月9日（水）19:00〜20:30、11月4日（土）14:00〜15:30、12月20日（水）・2月7日（水）19:00〜20:30　会場：ワークショップルームA　来場人数：63名　参加費無料

20代 女性の声　他人の時間が貴重なことを教えてもらえる展示だった。

第4回世田谷区芸術アワード“飛翔”生活デザイン部門受賞展覧会
世田谷を“はかる”プロジェクト2017－2018

まちを〝はかる〟、世田谷を〝はかる〟

第5回世田谷区芸術アワード〝飛翔〟の生活デザイン部門は、「世田谷の暮らしを楽しくするデザイン」というテーマで2016年に公募を行った。受賞者である吉川美鈴氏と川上恭輔氏は、「〝はかる〟ことからまちのよさに触れるきっかけをつくり、世田谷を再発見するプロジェクト」を提案し、まちづくりに対する新たな視点が評価された。本展では、世田谷と隣接する区や市との境界を〝はかる〟の視点で見つめなおし、インスタレーションとして展開。世田谷の形をドレープ状に解いた作品によって、まちがいつもと違う輪郭で立ち上がった。

隣接する区や市との境目にはたくさんの発見がある

開催日時：2018年2月9日（金）～2月18日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：2,475名
共催：世田谷区

《関連企画》
夏の子どもワークショップ「世田谷を“はかる”プロジェクト2017」
開催日時：8月12日（土）10:00～16:30　会場：ワークショップルームAB　対象：小学1年生～中学生　講師：吉川美鈴＋川上恭輔（世田谷を“はかる”プロジェクト）　参加人数：19名　参加費：1,000円

30代 女性の声　**世田谷は広い！ と実感しました。**

おはなしいっぱい

区内で活動する おはなしの会が大集合！

「世田谷おはなしネットワーク＊」と共催する本企画は、今年で17回目を迎えた。

おはなし会「おはなしいっぱい」は、夏休み期間の恒例イベントとして、多くの区民に親しまれている。今年も幼児から小学生まで対象年齢を分けた幅広いプログラム構成で、紙芝居、すばなし、手あそび、わらべ唄、パネルシアターなどの多彩なプログラムを展開した。また、幼児教育者や国立科学博物館の恐竜学者を講師に招き、春と秋に講演会も開催した。

＊1997年活動開始。世田谷区内で活動する複数のおはなしの会が連携し、図書館などで活動中。現在、60のグループ・個人会員から成る。

大型紙芝居を楽しむ子どもたち

開催日時：2017年8月23日（水）11:30～15:00、24日（木）11:00～15:00、25日（金）11:00～15:00　会場：ワークショップルームAB　出演：18グループ　来場人数：1,502名
共催：世田谷おはなしネットワーク　協力：世田谷区立中央図書館、世田谷区立児童館

《関連企画1》
講演会「おはなしおばさん 藤田浩子さんの世界」
開催日時：6月15日（木）14:00～16:00　会場：セミナールームAB　講師：藤田浩子（幼児教育者）　参加人数：115名　資料代：100円

《関連企画2》
講演会「真鍋真さんと絵本で学ぶ最新恐竜学」
開催日時：11月19日（日）10:00～12:00　会場：セミナールームAB　講師：真鍋真（国立科学博物館 標本資料センター・センター長）　対象：小学生以上　参加人数：112名
資料代：100円

30代 女性の声　**いろいろな手遊び、お話絵本の読み聞かせなど、さまざまな工夫がされていて面白かったです。**

「森・里・海の連環」による 豊かな海づくりレリーフジオラマ

自然の循環と人との関わりをめぐる映像体験

リアス式海岸をイメージした真っ白なレリーフに映し出される景色と合わせ、正面のスクリーンでは、森と海とのつながりと自然を守り育てる人々の様子を紹介。日本の四季折々の美しさ、豊かさに触れながら、自然の循環と人の関わりについて、短い時間で学ぶことができる。

ナレーションを排し、映像と音楽のみで展開するプロジェクションマッピングの迫力に、小さな子どもから大人までが惹きつけられ、何度も繰り返し鑑賞する姿がしばしば見られた。

紅葉に山肌が色づく秋のシーン

開催日時：2017年4月～2018年2月の祝日を除く水曜日（計46日）14:00～15:30（5分間の映像をくりかえし上映）
会場：八角堂　来場人数：679名

世田谷アートフリマ

手づくりアートの〝のみの市〟

『世田谷アートフリマ（Art Flea Market＝アートの〝のみの市〟）』は、今年度で28回目を迎えた。2003年に開催して以来、紆余曲折を経て出展者や来場者とともにその歴史を重ねてきた。

アートフリマが一貫して目指してきたのは、「ものづくり」を介した地域密着型の交流ができるプラットフォームになること。作り手にとっては身近な作品発表の場であり、来場者にとってはお気に入りの作品と巡りあう機会。30回目を迎える来年度、自分の暮らす街と親しむきっかけを、「ものづくり」を通して紡いでいきたい。

にぎやかな4階会場

開催日時：［Vol.27］2017年4月22日（土）、23日（日）11:00～17:00　［Vol.28］2017年9月9日（土）、10日（日）11:00～17:00　会場：ワークショップルームAB、セミナールームAB、市民活動支援コーナー　来場人数：［Vol.27］約4,000名　［Vol.28］約4,000名　共催：世田谷アートフリマプロジェクト　協力：世田谷233

《関連企画》
世田谷アートフリマつながり展2017
開催日時：9月2日（土）～10日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　出展作家：小田ひで次（漫画）、ASUHA -明日葉-（写真）、高木亮（きりえ）、little fish（イラストレーション）、ゴトウシタカ（写真）、なめくじソルトと百日咳（ファッション）、コヤナギアイコ（クレイ作品）、モリヒロミ（シルクスクリーン）、Emi（キリハリエ）、桜木リカ（イラストレーション）、佐々木朋哉（ジオラマ）、永井キオ（鉄アート）、ウチダカナエ（イラストレーション）　来場人数：2,100名　入場無料

30代 女性の声　**好きなものを作っているところに触れられて良かった。**

市民活動支援コーナー

さまざまな市民活動団体の日常をサポート

市民活動支援コーナーは、区内の市民活動団体が登録して利用している「活動の場」。運営を委託するNPOとともに市民活動の活性化を進めている。日常的な打ち合せに活用するほか、チラシやポスターの印刷スペースや、幅広い分野の団体活動情報も掲示している。

今年も利用団体が制作した作品展示と、一週間の活動を日記風に紹介した「市民活動支援コーナーの日々展」、秋の文化祭的イベント「パオフェスタ2017」を開催。年間を通じて各団体同士が交流を深めた。

支援コーナーの風景

場所：生活工房3F　開館時間：9:00～21:00（月曜休館）
委託先：特定非営利活動法人国際ボランティア協会（IVUSA）　来場人数：21,518名

《関連企画1》
パオフェスタ2017　市民活動体験喫茶パオ
開催日時：2017年10月21日（土）、22日（日）11:00～18:00　会場：市民活動支援コーナー　来場人数：604名

《関連企画2》
市民活動支援コーナーの日々展2018
開催日時：2018年3月23日（金）～4月15日（日）9:00～20:00　会場：生活工房ギャラリー　来場人数：1,870名
（3月31日現在）

NPO・市民活動のためのステップ・アップ講座

組織づくりのためのヒント／コツを学ぼう!!

より良い組織づくりをめざして

区内には、専門性を生かして社会課題に取り組む市民活動団体が多く活動している。その活動は地域のコミュニティの充実にも重要な役割を担っている。

本企画はNPO・市民活動団体の安定的・自立的な組織づくりに必要な基礎知識を学ぶ講座である。団体が共通に抱える運営上の課題解決をテーマに、事例やノウハウを紹介しながら、本年は4講座を開催。それぞれの団体が特徴や目的に合った手法を考えながら、組織としての課題を明確にして、常に組織内で新たな視点や気づきを共有することの重要性を学んだ。

第1回「組織づくりに必要なこと」
開催日時：2017年12月2日（土）14:00～17:00　講師：呉哲煥（NPO法人CRファクトリー代表理事）　参加人数：18名

第2回「活動資金を集めるには」
開催日時：2017年12月19日（火）19:00～21:30　講師：堤大介（株式会社PubliCoコンサルタント）　参加人数：20名

第3回「メンバーを惹きつける方法を学ぶ」
開催日時：2018年3月6日（火）19:00～21:30　講師：五井淵利明（NPO法人CRファクトリー事業部長）　参加人数：16名

第4回「プロボノを活用する方法を学ぶ」
開催日時：2018年3月13日（火）19:00～21:30　講師：嵯峨生馬（認定NPO法人サービスグランド代表理事）　参加人数：4名

会場：セミナールームAB　参加費：各回1,000円　共催：世田谷区 生活文化部 市民活動・生涯現役推進課（第1、2回）
企画：株式会社世田谷社

30代 男性の声　事例、図解も多く解説がわかりやすかった。

世田谷市民活動支援会議

世田谷の市民活動、応援します

世田谷は、市民活動が盛んだ。NPOやボランティア団体など、さまざまなグループが活動している。

世田谷市民活動支援会議は、「より良い地域社会を作るための市民活動」を支えるネットワーク。行政である世田谷区と、施設や助成金の提供など、多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。四半期ごとに連絡会議を開くとともに、港区の「芝の家」や「ご近所ラボ」といった開かれた市民活動支援スペースに視察に伺い、先進事例を学んだ。

「ご近所ラボ新橋」視察のようす

他の構成団体：世田谷区生活文化部市民活動・生涯現役推進課、社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会、一般財団法人世田谷トラストまちづくり、社会福祉法人世田谷ボランティア協会、特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会、特定非営利活動法人NPO昭和、特定非営利活動法人まちこらぼ

国際交流inせたがや2018

世田谷区民による国際交流イベント！

生活工房では、区民団体による国際交流事業を共催として、毎年サポートしている。今年で第26回目を迎えた「国際交流inせたがや」は、在日外国人との文化交流の場をテーマにした区民による国際交流事業で、各国の大使館大使、書記官も来賓に迎え、会場は多くの来場者で賑わいをみせた。

世界各国のPRブースでは、それぞれの国の多彩な文化を紹介するとともに、特産品の販売も人気を博し、日本舞踊の実演や、お茶や和服の着付け体験も好評で、日本の伝統文化も楽しめる区民と在日外国人の交流を深めるイベントとなった。

子どもたちによるペルーの踊り

開催日時：2018年2月10日（土）13:00～15:30　会場：ワークショップルームAB　参加費：1,000円　来場人数：280名　共催：世田谷海外研修者の会

生活工房施設ガイド Floor Guide

5F 講演会やミーティングに最適

「セミナールーム」は、講習会や会議に適したスペースです。プロジェクターを含む映像・音響設備も備え、効果的なプレゼンテーションが可能です。A・B各部屋の可動式間仕切りを外せば最大で120名（机椅子使用時は108名）まで収容できます。

貸出対象スペース **セミナールームA** 74㎡／定員48名／利用時間9:00〜22:00

貸出対象スペース **セミナールームB** 83㎡／定員48名／利用時間9:00〜22:00

4F ものづくりや展示を楽しむ

「ワークショップルームA」は、ものづくりやトークイベントに対応したスペースで、併設されたキッチン（63㎡）には、各種厨房用品も備えています。多人数の交流会にも最適です。

「ワークショップルームB」は、扇形の壁面が特徴的な展示スペースです。可動式展示パネルで室内のレイアウト変更ができ、多様な展示が行えます。音響や映像機器を使った集会等の開催も可能です。

貸出対象スペース **ワークショップルームA** 126㎡／定員50名／利用時間9:00〜22:00

貸出対象スペース **ワークショップルームB** 145㎡／定員50名／利用時間9:00〜22:00

3F 生活工房の展示や市民活動の拠点

「生活工房ギャラリー」は、暮らしのデザインやクラフト、異文化紹介などをテーマに、生活工房が主催する企画展示を行っています（一般への貸出はしていません）。

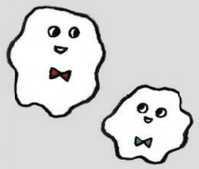
「市民活動支援コーナー」は、世田谷で活動している市民活動団体が打ち合わせや作業を行うことができるスペースです。パソコンや印刷機などの利用も可能です（有料）。

生活工房ギャラリー 開館時間：9:00〜20:00

貸出対象スペース **市民活動支援コーナー** 利用時間：9:00〜21:00

生活工房は、地域の人々の活動や発表の場！

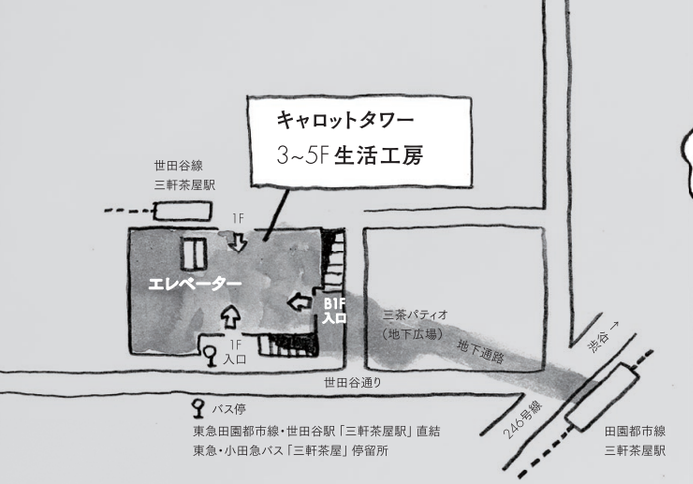
生活工房では多彩な設備を備えたスペースで独自の企画を行うほか、市民団体などにお部屋を貸し出しています。スペースごとに登録条件・利用方法などが異なりますので、詳細はお問い合わせください。



クラシー＆カワルン

生活工房のホームページでは、僕たちが施設の案内をしているよ。ぜひみてね！

休館日・管理休館日：年末年始・月曜日（貸出施設のみ。祝日の場合は除く）
所在地：東京都世田谷区太子堂4-1-1　キャロットタワー
TEL：03-5432-1543
URL：http://setagaya-ldc.net/



つぶやきからみる生活工房

10月25日22:37
いつもいい展示やってる三茶。
行けたらいいなあ。

11月12日15:41
「ミャオ族の刺繍と暮らし展」のトークイベントで、刺繍は女性の嗜みであり誇り、愛が込められている事を知った。でも自給自足の生活から近代化、経済化によって親は出稼ぎに出て刺繍どころではなく、継承が途絶えるという現状も知って悲しくなった。

11月12日21:24
「ミャオ族の刺繍と暮らし展」観てきました。
その意味や伝統を読んで、**暮らしに繋がる刺繍を目の前にすると圧倒的に感動します。**
愛が技術に変わってそこにあるのって素敵だ。
色鮮やかな刺繍見てるだけでも優しい気持ちになります。

11月18日19:46
「ミャオ族の刺繍と暮らし展」美しかったーー！！図案としての美しさ、手仕事の作品としての美しさ、実際に使われてきた物の美しさ。**ガラスケース無しに間近に見られるものもたくさんあって、その細かさに感嘆するばかり。**刺繍ってこんな縫い方もあるんだ！って知れたりもしました。刺繍習いたいなあ。

11月19日19:45
この世にはインスピレーションを受けるもの、何でこうなってるんだろうと考え始めたら答えがないものに溢れていて、**好奇心が躍り出して動けなくなる。**（同時に仕事の手が止まる）

11月30日0:19
今日は「ミャオ族の刺繍と暮らし展」見に世田谷文化生活情報センターへ。**めっちゃくちゃ見応えあって長居してしまった。目と心が潤った。**

12月2日11:54
ちょうど開催をTwitterで知り、足を運んだ世田谷生活工房のミャオ族の衣装の展示。屋台コーナーがあり、食べてみることにした。ラオガンマという調味料の豚肉炒め。益々行きたさが募る。まずは語学のレッスンと貯金。

12月3日17:49
時間がなくてゆっくり見られなかったんだけど、ミャオ族の刺繍と暮らし展はめちゃかわいくてお祭りの説明もたくさんだから、**三茶に来たときに寄ればにこにこできます**

撮影：田中由起子

2017年度、もっともつぶやきが多かった展覧会「クライム・エブリ・マウンテン vol.1 ミャオ族の刺繍と暮らし展」（P.52）。期間中は昼夜問わず、たくさんのつぶやきがありました。そのなかから、展示の感想とあわせて生活工房へのコメントも抜粋してご紹介します。

12月3日21:42
三軒茶屋にある生活工房の展示って、無料公開してる上に質が高いんで一見の価値あり。以前から気になってたエンサイクロペディア・シネマトグラフィカのフィルム上映会もやってるようですし。**世田谷区やることが際立ってる。**これは本当に感動します。家族のためにここまで刺繍やるという、家庭内芸術。アートの根源ってここにあると思う

12月7日21:24
開催中の「ミャオ族の刺繍と暮らし展」を観てきた。多様な技法を駆使し、途方もない時間をかけてひと針ひと針縫い上げられた衣装の数々、祈りを込めた美しい図案と作り手ごとの自由なデザインにため息しきり。良いものを見た。

12月8日20:06
「ミャオ族の刺繍と暮らし展」へ。ミャオ族の女性は6歳から刺繍を習うと言う。何から何までが緻密だ。ルールがあるのだろうが、大胆で斬新。見ていて飽きない。**彼らの生活、おそらく生き方と言っていい物たちに動揺するぐらいに胸をうたれた。**

12月9日15:19
生活工房がまた素晴らしい展示をしている〜!!!

12月10日15:37
来たかったこれ。献上品でもなく売り物でもなく、生まれ来る子どもや大切な人のために刺繍をするミャオ族の人々。文字を持たない人たちの文化。

12月10日22:02
細やかな手仕事による民族衣装が素晴らしく山岳地に生きる女性の着飾ることが伝わってくる。**刺繍が、作ることが、生活。**映像では景観の美しさ、慣習に驚く。**最終日、とても人気でフライヤーも無くなったそう。残念。**

12月12日16:19
生活工房の企画は個人的にツボなものが多くて、世田谷区民で良かったと思う事のひとつ。初日のトークショーも（事前に問い合わせて）ベビーカーで行ったのだけど、快く受け入れてくれ本当にありがたかった…。
三茶のオアシス、キャロットタワー。

数字で見る 生活工房のデータベース 2017（2017.4.1–2018.3.31）

事業数

事業総数
61件

展覧会
13件

展覧会関連イベント
15件

ワークショップ
11件

セミナー・イベント
7件

地域と市民活動
15件

来場者数

来場者総数
135,222人

展覧会
60,747人

ワークショップ
560人

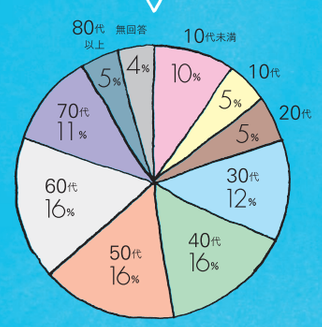
セミナー・イベント
1,195人

地域と市民活動
32,336人

貸館使用者・来場者
40,384人

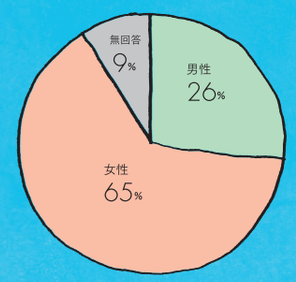
来場者の年代

10代未満や80代以上の参加率が上がっています。例年よりも幅広い年代 のかたがたにご参加いただけたようです。



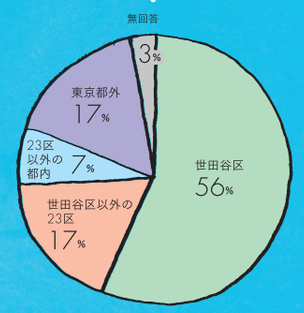
来場者の男女比

今年度最多の来場があったミャオ族の展示は女性が大半だったこともあり、男性の割合は例年より少なく約4分の1となりました。



来場者の住まい

世田谷区外からのご来場が半数近くを占めています。そのほかの割合とともに、ここ数年大きな変化はありません。



2017年度来場者アンケート1,751件のデータより

生活工房 2018年度事業（4〜6月）のご案内

4月19日（木）〜5月13日（日）
子どもワークショップ2017報告展
14歳のワンピース展

4月21日（土）・22日（日）
世田谷アートフリマ6.29

5月19日（土）〜6月10日（日）
DAYS JAPAN写真展2018　地球の未来をつくるために
世界の未来をつくるために生きる

6月16日（土）〜7月16日（月・祝）
折紙生活展―もしも折紙が日常に折り込まれたら!?

6月21日（木）
第42回世田谷おはなしネットワーク講演会
絵本と鳥の巣の不思議

※詳細はホームページをご覧ください。

ご支援・ご協力いただいた企業、団体、教育・公共機関等（各50音順・敬称略）

共催

イシス編集学校、NHK放送技術研究所、（一財）NHK放送研修センター、NPO法人国際ボランティア学生協会、世田谷アートフリマプロジェクト、世田谷おはなしネットワーク、世田谷海外研修者の会、世田谷区生活文化部市民活動・生涯現役推進課、（株）デイズジャパン、東京都立総合工科高校、トヨタ東京自動車大学校

協力

NPO法人アートフル・アクション、アジア太平洋観光社、（株）アルテスパブリッシング、伊勢半本店 紅ミュージアム、飯田水引協同組合、池田水引、NPO法人映画保存協会、（一財）NHK放送研修センター、大嶋雁金屋、桶川市歴史民俗資料館、お茶の水おりがみ会館、加賀水引 津田水引折型、貴州省日本観光センター／日中平和観光（株）、慶応義塾大学アジア基層文化研究会、コダカ社、（株）島田製粉所、（公財）下中記念財団、J―CA横浜 海外移住資料館、植物と人々の博物館、神明堂、世田谷区立児童館、世田谷区生涯学習・地域学校連携課、世田谷区立中央図書館、世田谷233、たかさき紅の会、大福書林、TSUTAYA三軒茶屋店、（有）デザインオフィス ジー・ワン オー・デザインコレクション、東京工芸大学、東京都夢の島熱帯植物館、東芝未来科学館、（公財）日本インダストリアルデザイナー協会デザインミュージアム委員会、（一社）日本EVクラブ、（株）榛原、ビリケン出版、福音館書店、NPO法人FENICS、水引屋 大橋丹治、苗族刺繍博物館、山形県河北町紅花資料館、（株）ゆかい

後援

世田谷区、世田谷区教育委員会

生活工房アニュアルレポートとは――
生活工房の1年間の活動をまとめた記録・報告書です。

生活工房アニュアルレポート2017
発行日：2018年4月21日

編集協力：杉本勝彦
デザイン：大原大次郎

表紙・扉写真：池田晶紀（ゆかい）
モビール制作：大原大次郎

表紙裏写真：藍のロウケツ染め布／苗族刺繍博物館所蔵
裏表紙裏写真：ミャオ族の民族衣装（部分）／苗族刺繍博物館所蔵
表紙裏・裏表紙裏撮影：田中由起子

協賛：株式会社東急コミュニティー
印刷：三永印刷株式会社

編集・発行：公益財団法人せたがや文化財団　生活工房
〒154-0004東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー
電話：03-5432-1543　ファックス：03-5432-1559
メール：info@setagaya-ldc.net
http://www.setagaya-ldc.net

本書の無断転写、複製、転載を禁じます。
©Setagaya Arts Foundation Lifestyle Design Center 2017-2018
Printed in Japan

20年を振り返る！生活工房の事業 1997-2016

	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
展覧会 Exhibition	●写真展「三軒茶屋―まち・人・想い」 ●くらべてあそぼ！おもちゃフェーラ ●暮らしのミュージアム パート2 次食住と用具のデザイン展、生活を彩るかさな生活たち展 ●国際交流展 「夏休み親子写真教室」写真展 ●くらしのサイクル展 ●ふるさと武蔵まつり写真展 ●年賀状展 ●見て、触れて、遊ぼう世界のくらし―体験ミュージアム 世界のテキ子たち絵展、世界を歩くよ	●見て、触れて、遊ぼう世界のくらし―体験ミュージアム ●にほんの遊び「ハハ・ごく・ロ」 ●収穫アーカイブ展覧会 ●マザーテレサ「現在メモリアル中写生写真展「マザーテレサ・その愛」 ●増田彩太写真展「ザ・ヘッドハウス（東海の表民相）」 ●小澤一郎のCosmos展プル・現在 ●写真展「地域の物語」 ●冷蔵庫／ICEBOX 潮田金太写写真展（P.8）	●唐仁原教夫「日田展」 ●1万人の看板写真展 ●小林敏也「展示 写真展 武蔵展」 ●第6回創作ふれあうフェスティバル「あそんで・つくって・考えテ」 ●空間のインスタレーション ●クラフト会議公募「99「デザイン―遺ふ感性」東京展 ●ひろいモスタン文化交流展 ●写真展「地域の物語」	●ヒューマンセンターデザインプロジェクト中CDF) 2000展 次世代の生活デザイン、西之原（P.16）、福祉車両、特子から創造する未来のすまい ●空間のインスタレーション ●Re2001 Project「きつねと武蔵」(P.12) ●イラストレーターの仕事展覧 ●新・表現展 ●世田谷・ウニッピ対抗都市3Dマル北武蔵示 ●写真展「地域の物語」	●Way of Working アート＆クラフト―展 EXHIBITION Yamanba ●チュニジアウィーク2001 in せたがや ●世田谷第一地下 JAPAN UNDERGROUND アート＆クラフト―展 EXHIBITION Leaf edge ●ミャンマー（ビルマ）文化交流展 ●日本海の魚展 OYOGAN 展 アート＆クラフト―展展 EXHIBITION Costina Boxi ●札幌芸術の森 「CIFT & HEART-CRAFT」 ●世田谷一クラスチャ 大竹誠展 ●空間インスタレーション ●世田谷一界隈 柳田陽 写真展 アート＆クラフト―彩 三島栄作作品展 ●印度の現況デザイン―彩 太作展（東海土生活空間） ●恵寿物語「我が愛のお人絵展」金国写真展 ●くらしのカテチ―展「物言人の声が聞こえる」 ●ひろいモスタン文化交流展 ●中国武術生活百賞道展（生活文化小展） ●くらしのカテチ―展 伝に出る、「地域風景講座」の展定活動のタ	●「世田谷図鑑」をつくろう ●おもかに遊べるつくり展 ものづくりプロジェクト 上電引は、おもしろくみんなで体験!（梅見付台お茶・お茶コース／お茶コース／お茶コース）親子で体験!パソコンをつくろう、フーチェンブ／デザインと写真！ペーパークラフトをつくろう！、エニアメブ探検隊、アートタウンでオブジェつくり、陶芸から始めよう、伝統文化と遊び、子ども環境ロッジ、親子でこんにちくりに挑戦、ふって見て遊ぶ家の電子工作、中学生「わくわくビデオまと挑金 ３たこおおなる！「おなじ型 おなじ子も」 ●夏のワークショップ 分解ワークショップ（P.1）、ぢどみんってでたか？探検 ●小学生のためのデザインワークショップ「こちらさまのデザイン」 ●おはどになってまちにてさう ●子ども体験ワークショップ 万華鏡をつくろう、ソーロープでをつくろう	●子ども体験ワークショップ おもかに遊べるつくり展 ものづくりプロジェクト 上電引は、おもしろくみんなで体験!（梅見付台お茶・お茶コース／お茶コース／お茶コース）親子で体験!パソコンをつくろう、フーチェンブ／デザインと写真！ペーパークラフトをつくろう！、エニアメブ探検隊、アートタウンでオブジェつくり、陶芸から始めよう、伝統文化と遊び、子ども環境ロッジ、親子でこんにちくりに挑戦、ふって見て遊ぶ家の電子工作、中学生「わくわくビデオまと挑金 ３たこおおなる！「おなじ型 おなじ子も」 ●夏のワークショップ 分解ワークショップ（P.1）、ぢどみんってでたか？探検 ●小学生のためのデザインワークショップ「こちらさまのデザイン」 ●おはどになってまちにてさう ●子ども体験ワークショップ 万華鏡をつくろう、ソーロープでをつくろう	●子ども体験ワークショップ ラジオの原理を教えてみよう！ラジオを組ろう！―こども編・上級編、七夕がやってくる！七夕のもりでたなばたの夜！、親のお菓子をつくろう！―いろんな顔で楽しんでみよう！、デジタルカメラで撮れ！女体写真の楽しみ方、ポップアップ・カードを贈ろう！―よびだすたちのくろう、分解ワークショップ（P.14）、影絵ってあそぼう！、カメラの仕組みを探ろう！ピンホールカメラをつくろう、映像ワークショップ―自然映像を体験しよう！、身近な自然を観察しよう！、電波の仕組みを聞こえみよう！―ハムフィイレス・マイクをつくろう、映像の仕組みを探ろう！小型テレビをつくろう、ボリジャルボスカーナーをつくろう、おもてなしのおかしをつくろう！、ボリジャル時計をデザインしよう！ ●O・I・Z・3建物・親子体験ワークショップ ●おもかに遊べるつくり展 ものづくりプロジェクト つぶあんも、ねってでくのお菓子、世界にひとりだけのおっちゃ茶碗、韓国の伝統遊びを体験しよう、本国語でお国作り、「星空とジャスカルテット」 「春の星空に響くハーモニー」 ●おはどになってまちにてさう	●HuPPy Face Photo ●恵新に残る100年の航伝展 ●「現年時ちアイリンジスストップ」シンボルマーク展 ●留学生の研究発表展「JAPONDEE!_2」 ●温れた遺産 ふるプロイ都庭街道 ●写真展「たたのいも」(P.22) ●ドイツのアニメーション フィルム展 ●ひどくやスランプの建築家 ヨゲナ を中心とした刑務所の世界 ●「自」からの恵みーの多彩な色たち ●写真展「せたがやでいめ」 ●宮古島自然体験教室報告展 ●ゆっくりこどものプロジェクト ●軟凍電型で見る 東西方法展 ●MANDALA ネパールの曼陀羅展 ●南アフリカ「天幕の家写展」 ●マグマスからの風 ーテクとものの組と木工職工の紹介	●まおんこぎたいこびっと展 ●くらべまるとかべる―鉄動の音がうまれるとき ●小倉修子写真展「双面の顔―日本と韓国の伝説」 ●高桑英寿写真展「アフリカ・ミュージシャンの肖像」 ●鉄絡展示ゐる「世田谷の民話」展 ●「点」をめぐる研究展 ●留学生の研究発表展「JAPONDEE!」 ●「どこでいめ。プロジェクト「Do you have home?」展 ●宮古島自然体験教室報告展 ●商店街の時間せたがや 第一ゥ ●宮古島の村ヲ写真展「象こと育てること」 ●JAPONDEE!プラツ展「酒器・酒杯由」東京巡回展 ●第1回いのちを守るデザイン展 ●中学生・シャブツト教室活動報告展 ●鉄道模型で見る 東急・たまいち物語
ワークショップ Workshop	●親子ラジャ制作工房 ●にんのぎだ お手玉つくりと遊ぼう、草木染め（ホコナザ）、コマ・メンコ・けん玉遊び、折り紙遊び、ボウ・ハ・ビ・ハ・ビ・ク ●夏休み親子写真教室 石とあそぼう ●くらしとこばドワークショップシリーズ ●エコクッキング講座 ●自分で作る住まいのメンテナンス ●エコロジカルなものづくり講座 クリスマスを飾ろう・お正月を飾ろう	●「地域の物語」ワークショップ ●「おいもからキクナを作ってみませんか？」 ●夏休みこどもミュージアム「ふしぎの国のアリス」 アリス・ナリエ・ナーシング「アリスの国いそまろう」、「星空クッキングをつくろう！」、アリスの国のお菓子をつくろう！、親子ジャック制作工房、もかべ〇ワークショップ「木であそんもやをつくろう！」	●夏のワークショップ「世界おばけフェーラ」 ワークショップ「おばけにもろう」絵本の広場、おはなしの会、親子料理体験教室「オリジナルケーキをつくろう」、おばけの「もかべ〇ろ工房」ワークショップ「ろくろ遊ぶをつくろう」、おばけコンテスト ●おばけになってまちにてさう ●「地域の物語」ワークショップ ●インダストリアルデザイナー―誰にも体験する「問から」のデザイン ●アートクッセピアまで飛ろう！ ●「京人国」実践デザイン講座2 体験ワークショップ（P.16）	●「世田谷図鑑」をつくろう ●おもかに遊べるつくり展 ものづくりプロジェクト 上電引は、おもしろくみんなで体験!（梅見付台お茶・お茶コース／お茶コース／お茶コース）親子で体験!パソコンをつくろう、フーチェンブ／デザインと写真！ペーパークラフトをつくろう！、エニアメブ探検隊、アートタウンでオブジェつくり、陶芸から始めよう、伝統文化と遊び、子ども環境ロッジ、親子でこんにちくりに挑戦、ふって見て遊ぶ家の電子工作、中学生「わくわくビデオまと挑金 ３たこおおなる！「おなじ型 おなじ子も」 ●夏のワークショップ 分解ワークショップ（P.1）、ぢどみんってでたか？探検 ●小学生のためのデザインワークショップ「こちらさまのデザイン」 ●おはどになってまちにてさう ●「京人国」ワークショップ（P.16）	●子ども体験ワークショップ ラジオの原理を教えてみよう！ラジオを組ろう！―こども編・上級編、七夕がやってくる！七夕のもりでたなばたの夜！、親のお菓子をつくろう！―いろんな顔で楽しんでみよう！、デジタルカメラで撮れ！女体写真の楽しみ方、ポップアップ・カードを贈ろう！―よびだすたちのくろう、分解ワークショップ（P.14）、影絵ってあそぼう！、カメラの仕組みを探ろう！ピンホールカメラをつくろう、映像ワークショップ―自然映像を体験しよう！、身近な自然を観察しよう！、電波の仕組みを聞こえみよう！―ハムフィイレス・マイクをつくろう、映像の仕組みを探ろう！小型テレビをつくろう、ボリジャルボスカーナーをつくろう、おもてなしのおかしをつくろう！、ボリジャル時計をデザインしよう！ ●O・I・Z・3建物・親子体験ワークショップ ●おもかに遊べるつくり展 ものづくりプロジェクト つぶあんも、ねってでくのお菓子、世界にひとりだけのおっちゃ茶碗、韓国の伝統遊びを体験しよう、本国語でお国作り、「星空とジャスカルテット」 「春の星空に響くハーモニー」 ●おはどになってまちにてさう	●子ども体験ワークショップ 電波の仕組みを聞こえみよう！ラジオを組ろう！ ●なんでもレジャンドをつくろう！、分解ワークショップ（P.14）、万華鏡をつくろう！、シャッタ ダイアレンよう！、ピンホールカメラをつくろう！、近現世京の写真教室「宮古島の自然を撮ろう！」、エニアメブ・ボーデをつくろう！、紙のおかしをつくろう！、天然の色で型染めを楽しもう！、春の花でガーデニングを楽しもう！、スポーツ・ボーツ・ボーツ・ロッドリンクを試してみよう！、プログラムロボットのプログラム原理を探ろう！、木のおもちゃをつくろう！ ●O・I・Z・3建物・親子体験ワークショップ ●おはどになってまちにてさう ●作って、食して・学ぶ・友だち―韓国編	●中学生次世代未教育 ●O・I・Z・3ブ ホ・ボ体験ワークショップ ●入口のものづくりワークショップ 万華鏡作ゐ ものづくりスタッフ、エジプシエコップ蓄音機、シルバークイ作ってつくるペンダントトップ ●夏休みこども体験ワークショップ 万華鏡をつくろう！、風の音色のふうりんをつくろう！、ガラスのお面に絵を描ろう！、風の海のプクプクのんをつくろう！、宮古島自然体験教室、切り紙のフクをつくろう！、こんにちの家・夏休みの思い出をプルにしよう！、ミニチュア・ガーデンをつくろう！、豆のスープで世界一おいしてしのスープをつくろう!(P.24) ●おはどになってまちにてさう ●分解ワークショップ（P.14） 電化製品の仕組みを探ってみよう！、プロジェクター・光の原理を探ろう！
セミナー Seminar	●世田谷の緑と水辺のフォーラム 見て、触って、感じる「アプリカ」 ●初心者のための基礎ビデオ編集講座 「地域の物語」全関講座 ●武大原言チャンパロンコンサート ●ライブデザインプロジェクト準備セミナー ●ビデオと映会 ●第2期ふぶきウィンズカレッジ	●初心者のための基礎ビデオ編集講座 「地域の物語」全関講座 ●武大原言チャンパロンコンサート ●ライブデザインプロジェクト準備セミナー ●ビデオと映会 ●第2期ふぶきウィンズカレッジ	●基礎ビデオ編集講座 ●ライブデザインプロジェクトオープンセミナー「ユニバーサルデザインとはなにか？」 ●ふぶきカレッジ	●基礎ビデオ編集講座 ●ビデオの楽しみ方 「食のデザイン」連続セミナー 「ものづくりの現場」連続講座 ●関西環境展「ソルーロード交流」 ●ふぶきカレッジ	連続セミナー「暮らしとデザイン」 パッケージベースのインフォメーションデザイン、学校の教育環境とデザイン、地域とアートの関係の、区民とデザイン、子供のためのデザイン、私たちが使いたいの一家電・家具・住空間について 「食のデザイン」連続セミナー 改善と提案は、ものづくりの基本に上がるまで、ビール、地中海の食文化・スペイン、地中海の食文化・イタリア 工業デザイナーによるデザインセミナー 学生の就業支援セミナー ふぶきす武蔵川セミナー ふぶきす武蔵スプロ応援資講座 ふぶスクッ無武講座 ふぶきすパートナーズッッ事業 女子学生の就職活動講座セミナー 家庭と仕事を両立した、女性のための再就職セミナー ふぶきす起業セミナー コミュニティビジネス入門編	初心者のためのパソコンでビデオ編集 連続セミナー「暮らしとデザイン」 大学と企業との連携による研究開発「世界最進小多目的電気自動車「ハムエ」、デザイナーと市民と公共との連携による「ものづくりプロジェクト」、企業とアーティストの連携による文化市民品開発「ランデブープロジェクト」コンテポーションにおけるデザインの重要性「高度情報自然学習参連施設」 「「食のデザイン」連続セミナー 食のビジネスとデザイン ビール業界 環境の変化とデザイン、老舗の有効活 学問のまわりを公共了重かゴのデザイン、部屋めん業界 ーイングスリプルデザインが生み出す食品、輸入食品業界 ーイリアス食文化の機能ストーリーデザイン 工業デザイナーによるデザインセミナー 食と薬の安全を考える 知っている仮立つ薬とのけ付合い方 ふぶきす男女ネットワーク ふぶきす男女共同参画講演ネットッ ふぶきす女子学生の就職活動準備セミナー ふぶきす民民スクッ北側講座 映画上映・パイク「カリブの海賊」 ふぶきす 自分らしき ちゃっとパーフェッ アップ「ジェンダーフリー入門講座」 ふぶきす起業セミナー	連続セミナー「暮らしとデザイン」 集合集団と多様化する家族の関係、集合住宅のにおいてどれから、集合住宅ができるまで、世界の集合住宅とその多様性について、都市型の異質住宅について 「食のデザイン」連続セミナー 「「食のデザイン」連続セミナー」「ハットや食品」、都市と地方を結ぶ不食「信州新町・生活改善グループ」、都市生活者 「個 を 信頼 を 食 の 会 ①「コンビニ弁当」コミュニケーションとしての食 「もんじゃ焼き」 連続セミナー「暮らしとデザイン」 シニアライフを快適に過ごす住宅、リノベーション集団の都探検、世田谷に お住都市再生 女性のための就業支援セミナー 男女共同参画理解のためのワークショップ シネマ&トーク「ベルカムに恋して」、シネマ&トーク「イナフ」 多様な働き方応援セミナー ふぶきす民民公園講座 ふぶきす起業セミナー ふぶきすおさんぽのための子育てネットワーク 朝読講座「豊かなことばの世界」	●せたがや・次世代の交通と環境プロジェクト (P.20) TOKYOエコロジライブ・プロジェクト、シンポジウム「既にある文化」は、信号／路切時ちアイリンジスストップ／イベント世田谷図書、「信号時ちアイリンジスストップ」シンボルマーク・デザインコンテスト 「「食のデザイン」連続セミナー 「「食のデザイン」連続セミナー」「ハットや食品」、都市と地方を結ぶ不食「信州新町・生活改善グループ」、都市生活者 「個 を 信頼 を 食 の 会 ①「コンビニ弁当」コミュニケーションとしての食 「もんじゃ焼き」 連続セミナー「暮らしとデザイン」 シニアライフを快適に過ごす住宅、リノベーション集団の都探検、世田谷に お住都市再生 女性のための就業支援セミナー 男女共同参画理解のためのワークショップ シネマ&トーク「ベルカムに恋して」、シネマ&トーク「イナフ」 多様な働き方応援セミナー ふぶきす民民公園講座 ふぶきす起業セミナー ふぶきすおさんぽのための子育てネットワーク 朝読講座「豊かなことばの世界」	●せたがや・次世代の交通と環境プロジェクト (P.20) 信号／路切時ちアイリンジスストップキャンペーン世田谷図書、セミナー「既要基命一ちのはできちりッチ―S.S ＦＡＩＲ ＯＦ 東ユネ基盤」 連続セミナー「暮らしとデザイン」 地域一私の暮らす場所 ・みんなで暮らすまち、家一家族とかすでもやるもの、公園一日本の公園、たまでたこあかん、文化施設ーアートを生みだすまち特つまち、病院・福祉施設ー希望を持って高立つために 中ー高校生向け「グループで考えよう国際協力」 ボイスロ・ワークフェスタ シネマ&トーク「ベアテの贈りもの」 ふぶきす民民公園講座 ふぶきす起業セミナー ふぶきすおさんぽのための子育てネットワーク 朝読講座「豊かなことばの世界」	●せたがや・次世代の交通と環境プロジェクト (P.20) 信号／路切時ちアイリンジスストップキャンペーン世田谷図書、朝読バスを利用した「信号時ちアイリンジスストップ」PR ●子ども体験セミナー―仕組みを探ろう！分解ワークショップ関連事業） 世田谷映像文化シンポジウム「映像文化が地域を創る」 ●ふとメモ で関係を知ろう！ ●商性のためのライブデザイン講座 ボイスロ・ワークフェスタ 世田谷 シネマ&トーク「ベルカ恋 世田谷」 ふぶきす民民公園講座 ふぶきすおさんぽのための子育てネットワーク 朝読講座「豊かなことばの世界」
地域と市民活動 Local Community	●姉妹都市ウィーンアンサンブルコンサート 活動団体交流会、ネットワーク会議 ●NPOへNGOセミナー ●インドネシア・日本友好祭り2 ●施設貸出説明会 ●女性海外派遣事業 ●生活工房パートナーズ交流会 ●在住外国人日本人の国際交流（本少年交流） ●世田谷おもしろ展レストラン ●パンパシ・市姉妹都市提携5周年区民派遣事業 ●活動交流茶話会 ●キャロットまつり	●区民国際交流活動の支援 ●青少年国際交流 ●NPO基礎講座 国際交流を考えようっぺい 女性海外派遣事業 ●パンパシ・市との区民交流会 ●NPOイブニング講座 ●NPOプロセミナー ●せたがや国際交流フェスタ ●生活工房パートナーズ交流会	●国際交流フェスタ アフリカ文化交流会、ラクン祭・アルゼンチンタンゴのタベ、タイの料理と民族舞踊 ●NPO基礎講座・相談会 ●NGO支援コンサート「ウィッチャリティコンサート」 ●女性海外派遣事業 国際理解「国際交流入門」講座 ●パートナーズ学校 アートクッセピアまで見ろ 国際交流 ハ せたがや ●ウェニッピ市中市生交流会 ●地域ボランティアプロ講座 ●ビデオ広報	●IT基礎技術講習会 パートナーズサロン おはなしハッぺい NPO講座 ふりっぺ世田谷 国際交流 ハ せたがや 市民活動相談 ●ギャラリーカフェ ぐっぐ展示 市民活動支援コーナーの運営 男女共同参画センター「ふぷりす」の管理運営業務	●パンパシ・市姉妹都市市民交流支援事業 市民活動のためのインターネット講座 NPOの講座 パートナーズサロン 米国の元気日NPOと語ろう おはなしハッぺい 国際社会に学ぶ地域ぐーー集成研修 市民活動のためのプリントクッ講座 ウズベキスタン共和国訪問団の来訪 市民活動のためのパソコンセロ ふりっぺ世田谷 税理士によるNPO会計相談 国際交流 ハ せたがや 市民活動相談 ギャラリーカフェ ぐっぐ展示 市民活動支援コーナーの運営 男女共同参画センター「ふぷりす」の管理運営業務	●NPO講座 会計士によるNPO会計相談 おはなしハッぺい 国際社会に学ぶ地域ぐーー集成研修 インターネット講座 パートナーズ学校 国際交流 ハ せたがや ウェニッピ市姉妹都市との区民交流事業 市民活動相談 ●「せたがや市民活動Genki ネット」の運営及びITニュータ・ディメンションセミナー ギャラリーカフェ ぐっぐ展示 市民活動支援コーナーの運営 男女共同参画センター「ふぷりす」の管理運営業務	●NPO講座 おはなしハッぺい ボランプリ「星作祭ってみよう？」 シンポジウム「星作祭ってみよう？」 世田谷アートクリマ(P.18) パートナーズ学校 市民活動相談からの公募企画「市民活動のための広報PR講座」 国際社会に学ぶ地域ぐーー集成研修 国際交流 ハ せたがや 市民活動相談 「せたがや市民活動Genki ネット」の運営 IT ニュータ・ディメンションセミナー ギャラリーカフェ ぐっぐ展示 市民活動支援コーナーの運営 男女共同参画センター「ふぷりす」の管理運営業務	●世田谷アートクリマ(P.18) パートナーズサロン おはなしハッぺい 国際社会に学ぶ海外訪問研修 広報にはコツがある！私たちにもできた！話からのコロの円報 Part2 国際交流 ハ せたがや JCA 国際国際交流コンクール 「せたがや市民活動Genki ネット」の運営 IT ニュータ・ディメンションセミナー ギャラリーカフェ ぐっぐ展示 市民活動支援コーナーの運営 男女共同参画センター「ふぷりす」の管理運営業務

Lifestyle Design Center Annual Report 2017

生活工房アニュアルレポート2017

April 2017 - March 2018

20年を振り返る！生活工房の事業 1997-2016

	2007年度	2008年度	2009年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
Exhibition 展覧会	▪黒白美術市場 ▪TPCP PUNK CAMP BAGS｜レイクウット バッグ展 ▪頭脳見本展 (P.26) ▪留学生の研究発表展［APONDERA］ ▪はじめの食べもの展 ▪ただいま。プロジェクト「その電丸デザイン展」 ▪ただいま。プロジェクト「ただいま。展 in 島根」 ▪世田谷のものづくり展 ▪展示会いのち考えるデザイン展 ▪福のやの日本たち－百本展覧会 ▪「たえは結び」展－京都たちの美しさ継承志 展 ▪写真展「双国の絆—日本と韓国の彩る」韓国派遣展 ▪宮古島自然体験教室報告 ▪中学生ハイブリッド教室 ▪矢口地域子育ち品展「折る切る ひらく 切り紙の森へ」 ▪高田昌也セクデザージョジュクDS vol.1「結を編」 ▪「すたどやの指を読む」展 ▪写真展／Photo Projects vol.1 夏原泉砂	▪ラップ・ザ・セクデザー世田谷の包み展展 ▪神原と手原部［ピフォーカフアー］ ▪写真展／Photo Projects vol.2 鈴天邪鬼 ▪こどものあそびの結本展「たばるんがくるんだっ」松田けんじ絵本原画より ▪ただいま。プロジェクトvol.5「ただいま。展」犬尾私のこと、思い出のこと。 ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪ちってくてんが (P.38) ▪宮古島自然体験教室報告 ▪月のへそ－荒木本陣点と也メキシコ展 ▪中学生ハイブリッド教室報告 ▪「世田谷で見かけた書体」展 ▪伊丹国際フクシ展「高齢・障碍者」東京巡回展 ▪Touching the Images ふれる写真展 ▪高田昌也セクデザージョジュクDS vol.2「種の器（seeta no niwa）」	▪東急世田谷線をのがたり ▪アップリンク交流写真展 ▪New lifestyle Design 使いやすさのやさこたから ▪cochoo の飯cocoo!!!! 展 (P.30) ▪色__living ▪「ハイキ KOCK × 結」展 ▪宮古島自然体験教室報告展 ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪分解展－家電の中身が教えてくれること。 ▪時間を食べる ▪「KO-KI 和」展－容器たちの美しき曲線 ▪高田昌也セクデザージョジュクP-10 vol.3「I'm home ただいま 夫婦一家展」 ▪姉妹都市交流「パンパリー市民写真展」	▪生活工房ボスター展 ▪デンマリアのデザインガチング展 ▪ガリヤ・ザデッシー 美ハケ石の織り上暮らし展 (P.32) ▪DESIGN for EFTY ▪大田まとのクロスステッチ大図鑑！ ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪宮古島自然体験教室報告展 ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪部分のデザイン：ミキノクチ展 ▪伊丹国際クフシ展「高齢・障碍者」東京巡回展 ▪「Touching the Lines」ふれる線展 ▪「EVが的変する未来展	▪EVが的変する未来展 ▪ジャック美いのビジン 語意するジャックデザイン ▪アつの海と歩いこと（第1の海）カリブ海とナ家のモラ ▪Stacking Design 積み、重ねる、カクテ。 ▪カメラもいて生活工房の夢 ▪日本の歯列と伝統文化vol.1 和紙であなたを日本のこころ 道具・折形・和紙入形 ▪たびだ（ハ）ひ入間 Sooji が現代クラフトな世界 ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪写真展の写真展「家族の肖像」 ▪「高田昌也セクデザージョジュクP-10 vol.4「ものづくり」」 ▪「すたどやの指を知る「インフォメーショングラフィックス」展（常滑編） ▪日本／非日常展 世界の明日につながるデザイン	▪14歳のワンピース報告展 ▪日本の伝統文化と歯列史vol.2 和の色彩と結情にみる「江戸の粋」 ▪長屋 古江敦之写真展 ▪アつの海と歩いこと（第3の海）地中海トルコのイーネオ ▪アリエ｜ｎｏ のにわにｎｏ展 ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪アリエプ ワイ展覧会 ▪アカ・ザ（ハ）ひ入間 Sooji が現代クラフトな世界 ▪留学生の研究発表展［APONDERE］ ▪写真展の写真展「家族の肖像」 ▪「高田昌也セクデザージョジュクP-10 vol.5「Tin home ただいま 夫婦一家展」」 ▪「すたどやの指を知る「インフォメーショングラフィックス」展（常滑編） ▪日本／非日常展 世界の明日につながるデザイン	▪日常／非日常展 世界の明日につながるデザイン ▪地球のいまを知る「インフォメーショングラフィックス」展 (エネルギー編) ▪中央アリア日本「現代ビエンバッキ交流」展 ▪DAYS JAPAN写真展2013地球のとこ生きる「世界の未来をつくるために」 ▪レイクウット バッグ展 BAG, ALL RIGHT ! ▪留学生の研究発表展［APONDERE10］ ▪第3回 世田谷区芸術アワード「飛翔」生活デザイン部門受賞展覧会「浴皮—muscle in shape product」展 絵本＋昭和文子大学機研究室 ▪有あるものを届けて ワンて展 どんぐりの30年 ▪日本の伝統文化と歯列史vol.4 日本人の美意識とくの「書色」 ▪本当のこの未来展展 (P.34) ▪「すたどやの指を知る「インフォメーショングラフィックス」展 (常滑編) ▪アつの海と歩いこと（第3の海）ギリシア渡とカルパ国のデザイン ▪宮古 市国の空間 美と風景 暮らしのフルーメ ルワーク (P.10) ▪ワークショップ報告展 夏のテ子ども	▪一期、日本茶、三軒茶屋展 ▪写真とことば、記憶の場 福島—東京 ▪世田谷区展 グラフィック展 ▪世田谷—netosa ゼクデザ デザイン PROJECT ▪アつの海と歩いこと（第5の海）オーカップ海とイイルクのイルガ ▪モンズ・ベッとの間の出来 ▪DAYS JAPAN写真展2014 地球のとこ生きる「世界の未来をつくるために」 ▪真田昌也デイレクション「年と手一点屋と竹ケ手、その生き方」 ▪アプ春ぐりンガ－ランド (P.40)	▪散く女性の炎 大炭女とあんこさん ▪DAYS JAPAN写真展2015 地球のとこ生きる「世界の未来をつくるために」 ▪はたこうもう結本原画展「ぼくはうちゅうじんぐ」 ▪アつの海と歩いこと（第6の海）イイ才浜とハン島のヒンザノラク ▪第4回 世田谷区芸術アワード「飛翔」生活デザイン部門受賞展覧会「雨の傘のもCASA PROJECT」 ▪JAPONEROOIS アフリカ北結婚一留学生に聞く、ガボン共和国のこと ▪故宮—紙の建築と宮殿展 ▪WASHIGOTO 未来を着る、洗所仏出の和紙のプロダクト展 ▪三軒茶屋 三角地帯 考現学 ▪NHK技研×生活工房 夏のアニメーションワークショップ報告展 ▪時間をかける、めくる時間の変遷展 (P.42) ▪MADE IN OCCUPIED JAPAN 1947-1952 海を渡った陶磁器展	▪MADE IN OCCUPIED JAPAN 1947-1952 海を渡った陶磁器展 ▪いめと、ねこと、わたしの防具［いっしょに遊げてもいいかな？展］ ▪DAYS JAPAN写真展2016 地球のとこ生きる「世界の未来をつくるために」 ▪日本のボーダブルレコードプレイヤー 展 ▪JAPONEROOIS 展テ にる ▪アつの海と歩いこと（第7の海）北大平洋と北西海岸先住民のトーテム ▪すたどやの指を知る「14歳のワンピース」 ▪故宮をかこまれやこんなに生活はいるとおもうに上演されている！(P.44) ▪子どもワークショップ報告展「世田谷はクハンアニメーション ｉｎ ＮＨＫ技研」
Workshop ワークショップ	▪中学生電気フォーミュラー部 電子・中学生ハイブリッドカー教室 (中学生次世代教室) ▪食で探ろう！ハ％の謎ワークショップ —ひのはぶり 野良をつくろう、かぶのをつくる—北欧のクリスマスお菓子づくり ▪夏休みこども体験ワークショップ オリジナルプリントでつくるバッグ、アニメーションをつくろう、万華鏡をつくろう、オリジナルのカッコいいTシャツ、ガラスのコップに触れるような、ミニチュアガーデンをつくろう、宮古島自然体験教室、かぞくのせいふくワークショップ ▪大人のものづくりワークショップ 万華鏡づくり、切り紙のランプづくり、紙フィルム映写機づくり ▪分解ワークショップ (P.14) 電化製品の仕組みを見ろう！、プロジェクター光の原理を知ろう！	▪大人のものづくりワークショップ ふるふるすてるペンシュトゥル、集ウで巻き呼ぶ ▪中学生電気フォーミュラー部電子／鉄子チャレンジ(V)教室／中学生ハイブリッド教室 (中学生次世代教室) ▪夏休みこども体験ワークショップ つなげてみんなでつくろうアニメーション、こどもプログラミングードークショップ ちっ想語、開発のおかげで広し—あのたんこをつくろう、宮古島自然体験教室、環境を考えるの解工場ツアー、のおるものをすきを結編、SETAGAYA★MIX—ひは体験教室、きょにんがやってきたぞ！ ▪分解ワークショップ (P.14) ▪パスタアワークショップ「世田谷のハ％をつくる」	▪中学生電気フォーミュラー部 電子・中学生ハイブリッドカー教室 (中学生次世代教室) ▪子どもも体験ワークショップ 動くものの知ワークショップ、宮古島自然体験教室、おやつとろ〜デザインワークショップ、ひは体験教室SETAGAYA★MIX ▪パスタアワークショップ ちっ小ものをつくろう！、世田谷スイーツをつくる ▪大人のものづくりワークショップ 世田谷を歩て発ゆる、春日に集いる 切り紙とガーランコラ ▪分解ワークショップ (P.14) ▪パスタアワークショップ「世田谷のハ％をつくる」	▪生命をつつむ未来展展 vol.1「いっぱいを選ぶ衣展」 ▪中学生電気フォーミュラー部電子・中学生ハイブリッドカー教室 (中学生次世代教室) ▪Life is Film 考と生活、未と生き、結にこのる ▪子どもも体験ワークショップ 手から知ろうつかとやさい、おどりとあそぶ・おさがる・コマ遊びアニメーション、ひは体験教室SETAGAYA★MIX、分解ワークショップ (P.14)、14歳のワンピース (P.30) ▪パスタアワークショップ ゆかいな集合写真パスタアワ(P.34)、世田谷の地下に眠る	▪中学生次世代教室 ▪子どもワークショップ くらしつる！研究室：「触れる地球」を体感しよう！、みんなのなまえでアニメーション、分解ワークショップ (P.14)、ひは体験教室SETAGAYA★MIX、14歳のワンピース (P.36) ▪生命をつつむ未来展展 vol.2「いっぱいを選ぶ衣展」	▪SUNDAY MORNINGS WORKSHOP 朝のコーヒーワークショップ、朝のウッド・クラフト・ワークショップ、朝のイイ・ワークショップ ▪夏のテ子ども・ワークショップ 「触れる地球」を体感しよう！、くらしつる！研究室、14歳のワンピース (P.36)、夏のNEWSなアニメーション！ ▪中学生次世代教室 ▪分解ワークショップ (P.14)	▪SUNDAY MORNINGS WORKSHOP 朝のマヤーマートハッピワークショップ、朝のイイハとテリーズのワークショップ、朝のクリスマスーキとシスのワークショップ ▪夏のテ子ども・ワークショップ くらしつる！研究室、14歳のワンピース (P.36)、夏のNEWSなアニメーション！ ▪中学生次世代教室 ▪分解ワークショップ (P.14) ▪時をときはなつ 時のフォーカドワークショップ「水に清ちた木の音を編む」、「月をうつす」、時のドキュメンタリー上映会「ものづくりの時」「清月の夜」」 ▪夏のテ子ども・ワークショップ CASA PROJECTの工作室、14歳のワンピース (P.36)、夏のくるくるアニメーション！ ▪SUNDAY MORNINGS WORKSHOP 朝のクラフトビールとジーセーとのワークショップ、新年を祝う・お正月飾りづくり、みんなでつくってみんなで食べる印鑑ひのパスタ ▪分解ワークショップ (P.14) ▪中学生次世代教室	▪時をときはなつ 平塚江角先生＆天野ト先生のおはなしを楽しむ会、本の力を信じて—小さな出版社022年 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪インターエスアワークショップ「わかるとわかる！情報編集力」連続講座 ▪世田谷はなしとネットワーク講演会 まどかムいう学習—1DAYの年輪をゆろん、第の歯の音話 ▪世田のための 自分の「好き」を進たせ 新物 編集ワークショップ ▪スエの空間と自分ミキ クッオ—ニッポンの民先から ▪ゆ—ちんをおとりナー「民と生活工房」 民と塩、民と肉 ▪朗読講座「書かなことばの世界」
Seminar セミナー	▪せたがや・次世代の交通ミライ環境プロジェクト (P.20) 信号／踏切時ドイリングストップキャンペーン世田谷線、路線バスを利用した「信号待ちアイリングストップ」PR、信号／踏切待ちアイリングストップキャンペーン世田谷線 ▪連続セミナー「日本の伝統文化に見るエコロジー」 「五感にふれてひと」「ほんを丸ん」「句を食す」「見立ての妖怪、絵」「時と共に熟成される酒」 ▪宮古島と宮で味わうランゲニアのくらし。 ▪ケンキャキュー「仕事ゐ人生をゐ、いくら」 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪アイリングストップ・キャンペーン この一年、自分の地球のために何ができるかできる ▪宮古島と宮で味わうランゲニアのくらし。 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪連続セミナー知の航海 植物と微生物の対話が教えてくれること、和の思想、いのちはつながりの中に。これからの人と自動車、日本の美のこを語る解く。 ▪有田焼スタイリング「今食器事物語—暮らしの世日谷銘選」 ▪ライブデザイン・クイックトロボット 春スズ本展」 ▪環境ジャート「現代に蘇るフォ・ハンコンチ」 電気自動車のルーツを探る」 ▪国際協力プログラム「たたえばカフェに行ってみる」 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪生命をつつむ未来展展 在Fashion —身体化するファイバー、医療Medical —再生する皮膚とのお美、Food —生命をつなぐ親鼓、移動Transport —人が移動するためのフイバー、BAnfection —人と空間を包む繭展 ▪デザインで遊び「あ」と「電子書籍」 ▪食の文化史 世界を旅する鍋之旅 講演「鍋の原流をたどる」ワークショップ「切るもむーのばす 鍋づくり」 ▪環境と生活デザイン「電気自動車で観を飲ぶ？ 電気自動車が問いかけることみんなで—の未来」 ▪知の航海特別編「東日本大震災の記録」 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪連続セミナー知の航海 エネルゴロジーと世日谷シェル、これからの電（ナネ）、くのちあきまつり、土壁を焦た、たべものの哲学ティックス ▪【生活工房15周年記念企画地球に触ろう。「希望の地球？を語ろう！」 不動の大地？動いている？、遠ろ海の暖で地球を演ろう。10年後の地球を考えるためのフォーラム宮せたなにて ▪世田谷はなしとネットワーク講演会 鉛木「こっちは！」誕生ののゆ、飯野和好氏 自作絵本を語る ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪触れる地球をセミナー「地球目線で未来をデザインする」 ▪連続セミナー知の航海 人口減少社会と小商い、ふゆまつ ま ちのまつりこと、空地農業 都市農・人の新たなつなが ▪世田谷はなしとネットワーク講演会 さがしてみ！身近なお酒—美味野菜あんを添えて、唐 菜明さんが語る自作絵本—中国の物語から ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪連続セミナー知の航海 都市と食の文化論、オーガニックな食と思想、「和食」とは何か？、狩猟から考える、食べることの未来 ▪JAPONEROOIS 展 Fuson Pen 留学生に聞く、ベルー共和国のこと。 ドキュメンタリー映画上映会「ベルー・サイ」／ドラマ「ロクリロ」、ベルーの伝統料理マフィシュレーフ・ナの料理教室 ▪世田谷はなしとネットワーク講演会 ぼくの絵本の作ひろ、科学絵本で面白い！—さがしてみよう身近な自然ちゃ2 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪世田谷はなしとネットワーク講演会 平塚江角先生＆天野ト先生のおはなしを楽しむ会、本の力を信じて—小さな出版社022年 ▪朗読講座「書かなことばの世界」	▪インターエスアワークショップ「わかるとわかる！情報編集力」連続講座 ▪世田谷はなしとネットワーク講演会 まどかムいう学習—1DAYの年輪をゆろん、第の歯の音話 ▪世田のための 自分の「好き」を進たせ 新物 編集ワークショップ ▪スエの空間と自分ミキ クッオ—ニッポンの民先から ▪ゆ—ちんをおとりナー「民と生活工房」 民と塩、民と肉 ▪朗読講座「書かなことばの世界」
Local Community 地域と市民活動	▪世田谷アートプリマつながり展 ▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪パートナーズマウロ ▪シンボリウム［ボーダブルサイトでなに？］ ▪おはなしぃっぱい ▪世田谷アートプリマ セクビ ▪国際社会に学ぶ海外話題研修 ▪パンパリー市姉妹都市の区民交流事業 ▪会計にはつがあるイワーショップで学ぶ日から口コロの会計術 ▪国際交流ッせたがや ▪「すたどやで市民活動Canikネット」の運営 ▪「エンタテイインメントセミナー ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営 ▪美女丸同参画センター「ちょぷらす」の管理運営業務	▪世田谷アートプリマつながり展 ▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪パートナーズマウロ はお弁当話合ったり民活動交流会 ▪おはなしぃっぱい ▪パオフェスタ ▪アートプリマ セクビ ▪市民活動のためのスタッフ使いのくし展展 ▪市民活動支援コーナーの日々展 ▪国際交流ッせたがや ▪「すたどや市民活動Canikネット使いう方講座 ▪「すたどや市民活動Canikネット」の運営 ▪「エンタテイインメントセミナー ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪世田谷アートプリマつながり展 ▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪おはなしぃっぱい ▪世田谷アートプリマ セクビ ▪市民活動のためのスタッフ使いのくし展 ▪ハウウッ相談ハオ ▪世田谷アートプリマ セクビ ▪国際交流ッせたがや ▪「すたどや市民活動Canikネット使いう方講座 ▪「すたどや市民活動Canikネット」の運営 ▪「エンタテイインメントセミナー ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪「エンタテイインメントセミナー特別編 高水かりの地を語ろう、その歴史を語る、世田谷の巻を語る ▪おはなしぃっぱい ▪市民活動支援コーナーの日々展 ▪世田谷世界交流プロジェクト ▪市民活動のためのエクセル使いくこし講座 ▪ハウウッ相談ハオ ▪世田谷アートプリマ セクビ ▪国際交流ッせたがや ▪「すたどや市民活動Canikネット使いう方講座 ▪「すたどや市民活動Canikネット」の運営 ▪「エンタテイインメントセミナー ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪「エンタテイインメントセミナー特別編「カメラもって世田谷散歩」 ▪おはなしぃっぱい ▪パオフェスタ 市民活動体験展示パオ ▪世田谷アートプリマ in 文学館 ▪市民活動のためのファンディングセミナー ▪国際交流ッせたがや ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪市民活動助況ワークショップ「災害対応窓口訓練 もし、大災害が起きたら」 ▪おはなしぃっぱい ▪パオフェスタ 市民活動体験展示パオ ▪国際交流ッせたがや ▪NPOの市民活動のためのマーケティングセミナー ▪NPOのマーケティングの基礎、NPOのビジャルメディアの活用 ▪市民活動助況ワークショップ「災害対応窓口訓練 もし、大規模災害が起きたら」 ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪おはなしぃっぱい ▪パオフェスタ 市民活動体験展示パオ ▪国際交流ッせたがや ▪NPOの市民活動のための「物語」のつくり方講座 レクチャー編「つうんで、ひらくコミュニティ」地域創造に向けた「5つの物語」」、ワーク編「物語」をつくる編集ワークショップ」 ▪国際交流ッせたがや ▪市民活動ッせたがや ▪市民活動助況ワークショップ「災害対応窓口訓練 もし、大規模災害が起きたら」 ▪ギャラリーカフェ ちっく展示 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪世田谷アートプリマつながり展 ▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪市民活動支援コーナーの日々展 ▪国際交流ッせたがや ▪パオフェスタ 市民活動体験展示パオ ▪NPOの市民活動のための「物語」のつくり方講座 レクチャー編「つうんで、ひらくコミュニティ」地域創造に向けた「5つの物語」」、ワーク編「物語」をつくる編集ワークショップ」 ▪国際交流ッせたがや ▪市民活動ッせたがや ▪市民活動のタクラ・自況ワークショップ ▪パオフェスタ 市民活動体験展示パオ ▪NPOの市民活動のためのスタッフ・アップ講座 ▪国際交流ッせたがや ▪美・豊・海の連携による豊かな海づくり［レーダジオマリ］上映 ▪市民活動支援コーナーの運営	▪ワークショップ 「フィルム編集」「すたどややアカガの会」、「前頭アレビ ミリフィルムと映」「8ミリフィルム編集会 vol.2 アカ・ゆんた、ひ、くらし、世田谷」 ▪世田谷アートプリマ (P.18) ▪市民活動支援コーナーの日々展 ▪おはなしぃっぱい ▪世田谷アートプリマ つながり展 ▪市民活動のタクラ・自況ワークショップ ▪パオフェスタ 市民活動体験展示パオ ▪NPOの市民活動のためのスタッフ・アップ講座 ▪国際交流ッせたがや ▪美・豊・海の連携による豊かな海づくり［レーダジオマリ］上映 ▪市民活動支援コーナーの運営

世田谷文化生活情報センター

生活工房

Lifestyle Design Center

公益財団法人せたがや文化財団　生活工房
〒154-0004東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー
TEL-03-5432-1543
http://www.setagaya-ldc.net